

第七十三回
帝國議會
貴族院

國家總動員法案特別委員會議事速記録第三號

昭和十三年三月二十日(日曜日)午前十時
十一分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 開會致シマス、
山岡萬之助君

○山岡萬之助君 昨日委任命令ノコトニ付
キマシテ段々政府ノ御所見ヲ承ツタノデア
リマス、本案ノ中ニハ臣民ノ權利義務ヲ制
限スル、即チ憲法ニ於テ、立法事項ト必ズ
シモナラナイ事柄モアルノデアリマス、例
ヘバ本案ノ第十五條ノ如キ、收用シタルモ
ノガ不用ニ歸シタル場合ニ十箇年間ニ拂下
グルニ付テハ舊所有者若シハ舊權利者、
又ハ其ノ一般承繼人ニ優先セシムル、斯ウ
云フコトハ權利ノ制限デハナイ、權利ヲ保
持シテヤルコトデアリマスカラ、敢テ憲法
ノ保障關係ヲ考慮スル必要ノナイコトデア
ル、故ニ是ハ嚴格ナ意味ニ於テ法律事項、
立法事項デアルトハ言ヘナイノデアリマス、
デアリマスカラ、斯ウ云フコトニ關シマシ
テハ強ヒテ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フ規
定ヲ置ク必要ハナイノデアリマス、然ルニ
是ガ軍需工業動員法ニ於テモ、矢張りサウ
云フ風ニナッテ居ル、先例ガアルト云ウテ、
斯ウ云フ風ニ勅令ヲ澤山列ベタ場合ニハ、寧

ロ斯克ノ如キ必要デナイ場面ニ於テハ、削ッ
テ置クコトガ立法技術トシテハ相當デナ
イカト考ヘルノデアリマス、又此ノ委任命
令トシテ即チ勅令ニ委任シタル規定ノアル
部分ニ付キマシテモ其ノ實質上、既ニ本案
各本條ニ臣民ノ權利義務ヲ制限シテ置クコ
トガ、具體的ニナッテ居ル場合ガアルノデア
リマスカラ、ソレ等ニ付テハ決シテ委任勅
令ヲ以テスル必要ガナイノデアリマス、即
チ執行命令、憲法第九條ニ依ッテ出來ル譯
デアリマス、サウ云フ場合ノ規定ヲバ、矢
張り「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトハ
削ッテ置イタ方ガ立法技術上ニ於テ宜カッタ
ラウト思フノデアリマス、ソコデ此ノ只今
例示致シマシタ此ノ第十五條デアリマス、
政府御提出ノ國家總動員法案施行要綱ト云
フモノノ中ニ十五條ノ勅令トシテハ斯ウ云
フコトガ書イテアル、「拂下ノ通知、公告其
ノ他拂下ノ手續ヲ定ムルコト」是コソ私ノ申
上ゲタ通り勅令ニ委任スル立法ガナクテモ
自由ニ出來ルコトデアアル、要スルニ千篇一
律、其ノ内容ヲ顧慮スル處ナク總テ此ノ實
施規定ハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トズツト書
イテアル、斯ウ云フコトガ餘リニ詮索ガ足

ラナイト申シテモ之ニ辯ズル途ガナイト思
ヒマス、ソレカラ戻リマシテ第四條五條デ
アリマス、是ハ政府御提出ノ施行要綱ニ於
キマシテ、可ナリ項目ガ澤山書イテアリマ
ス、書イテアリマスケレドモ、何レモ鹽野
法相ガ段々申サレタ通り、義務ヲ限定スル
ダケデアアル、各本條、即チ四條五條ニ於テ、
臣民ノ義務ツケル方ハハッキリ書イテアル、
其ノ範圍ヲ限定シ、實施スル上ニ於テ具體
化スルト云フダケノ話デアアル、ソレナラバ
九條ノ施行勅令十分足りテ居ル、全ク四
條ト五條ハ此ノ本條デ義務ツクベキコトヲ
具體化シテ行クニ過ギナイノデアリマス、
即チ全國民ハ徵用サレル義務ガ命ゼラレ
ル、ソレヲ一部ダケノ國民ヲ徵用シ、又其
ノ順序ヲ定メ、或ハ給與ヲ與ヘルト言ウタ
ヤウナコトノ外、何モ書イテナイ、是ハモ
ウ施行勅令十分出來ル、又五條デアリマ
ス、五條ノ如キハ、是ハモウ協力、斯ウ云
フコトハ實ハ立法事項ト言ウテモ極メテ輕
イコトデアアル、忠良ナル我ガ國民ハ斯ウ云
フ規定ガナクテモ十分ニ協力スル、斯ウ云
フコトコソ命令事項ト十分デアアル、ガ併シ、
總動員法ヲ一ツノ法律ニ纏メタイト云フ見

地カラ行ケバ、御書キニナッテモソレハ宜シ
イ、併シナガラ茲ニ持ッテ行ッテモ矢張り
「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト書イテアル、而
モ施行要綱ニ於テハドウ云フコトガアルカ
ト言ヘバ、第一ニ於テ本務ニ重大ナル支障
ヲ及サナイ場合ニ限り使フ、茲ニハ本條、
即チ第五條ニハサウ云フコトハ書イテナイ、
義務ヲ制限スル、ソレカラ第二トシテハ協
力セシムベキ業務ノ種類ヲ定ムル、是モ即
チ義務ヲ制限スル、ソレカラ其ノ次ニハ實
費ヲ辨償スル、是モ結構ナ規定デアリマス、
又或人ヲ使ッテ其ノ人ニ實費ヲ拂ハスト云
フヤウナコトデハ不公平デアリマスカラ、
是モ當然デアリマス、是コソ全ク九條ノ執
行勅令十分、否執行勅令モ要ラヌコトデ
ス、省令デモ澤山デアリマス、併シ重要ナ
ルモノトシテ、勅令ヲ以テセラレルコトモ
差支ハナイデアリマセウ、斯ウ云フ風ニ詮
議立テ致シマスレバ、四條五條ノ如キハ悉
ク此ノ四條五條、本條ノ規定シタル義務ヲ
制限スル、サウスレバ斯ウ云フ勅令ノ定ム
ル所ニ依リト云フ規定ハ要ラナイノデア
リマス、デアリマスルカラシテ茲ニ例示的
ニ此ノ義務ノコトヲ申上ゲタノデアリマス

ルガ、其ノ他ニ於テモ相當議立ヲスレバ規定ガアルト思フノデアリマス、即チ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトガ要ラナイ、憲法デ既ニ決メテアル通りデ憲法ヲ實行スレバソレデ宜イ、此ノ法律ヘ持ッテ來テス様ナ強ク言ヘバ餘計ナ規定ヲシテ誤解ヲ生ズルヨリモ、憲法ノ條章ニ示ス所ニ依ッテ進マレルコトガ望マシイコトデアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、デ一々ソレヲ各條項ニ付テ申上ゲル必要モナイト思ヒマスガ、尙一ツ此ノ七條デアリマス、七條ハ此ノ勞働爭議ニ關シテ規定致シテ居リマス後段ノ方ハ是ハ作業所ノ閉鎖、作業、勞務ノ中止云々ト云フコトニ付テ制限禁止ガ出來ルト云フコトデアリマスルガ、是ハ何トシテモ矢張り立法事項ニ屬シマス、ガ併シ是ダケノ義務付ケヲシタル以上ト云フモノハ、敢テ勅令ニ依ッテ不當ニ擴大スルコトモ出來ナケレバ、是ダケノコトガ出來ルト云フダケノコトデアッテ、前段ニ至リマシテハ勞働爭議ト云フモノハ、元來今日ノ如ク學國一致ノ場合、而シテ此ノ總動員法ヲ實施シテ、今後ハ國民ガ階級闘争ノ如キ、斯様ナコトヲ爲シテ居ルヤウナコトデハ此ノ總動員法ノ實施ト云フモノハ決シテ良キ結果ニハ行カナイノデアリマス、故ニ斯様ナ法律ヲ制

定シテ、今後何處迄モ軍需民需共ニ充實サセル爲ニ學國一致ノ實ヲ擧ゲナケレバナラナイ、而シテ業務ニ付テモ單リ軍需工業ニ限ラズ、有ラユル業務ニ付テ總動員ヲシテ行クノダ、戰時ニ至ッテ左様ニスルト云フノナラバ、平時カラ訓練ヲシテ置カケレバナラナイ平時ニハ自由裁量ニシテ置イデ、戰時ニナッテ統制スルノダ、サウ云フ都合ノ好イヤウニハ行ケルモノデハナイ、況ヤ我が國ノ今日ノ狀態、何處迄モ學國一致デ行カナケレバナラヌ時ニ、徒ラナル闘争ヲ許スト云フガ如キコトハ、是ハ誤ッテ居ル、元來此ノ勞働爭議ト云フコトガ是ガ權能トシテ認メラレルヤウナコトニナリマシタノハ、餘リ長イ以前デハナイ、即チ治安警察法ニ於テ同盟罷業ト云フコトハ大體ニ於テ許サレナイ行動デアル、斯ウ云フ風ナ見地カラ規定ガアッタ、然ルニソレヲ此ノ一般選舉ニ變リマシタ時代、即チ「デモクラシー」ニ選舉ノ關係、政界ノ關係ガ動イタ時ニ其ノ規定ヲ削ッテシマッタ、ソコデ「ストライキ」ト云フモノハ自由ニヤッテ宜シイノダト云フヤウナコトヲ消極的ニ認メタノデアリマス、私ハ非常ニアノ規定ノ削ラレタコトヲ遺憾ニ思ッタ一人デアリマス、「ストライキ」ト云フモノガ、ソレガ權能デアルト云フ

ヤウナコトハドウシテモ考ヘラレナイ、各人ガ人ニ雇ハレテ業務ヲ罷メル、ソレハ一人デ罷メルコトハ自由デアリマセウ、然レドモ團體ヲ組ンデ工場ニ雇ハレタト云フ契約上ノ業務ヲ有ッテ居ル人間ガ其ノ契約ニ違反シテ、サウシテ「ストライキ」ヲシテ階級闘争ヲスルコトガ出來ルト云フコトハ、ドウシテモ考ヘラレナイノデアリマス、即チ雇ハレタト云フコトハ働クコトガ義務デアル、而モソレガ團體ヲ組ンデ左様ナ闘争ヲスルト云フ權能ガアリ得ルモノデハナイノデアリマス、是ハ全ク社會的見地カラ來テ居ル、而シテ此ノ「デモクラシー」氣分カラ來タ一ツノ動キニ過ギナイ、デソレヲ削ッテ、而シテ斯様ナ狀態ニナリ、ソレ以後勞働爭議ガ激シクナリ、延イテ小作爭議ニ及ンダノデアリマス、今日ハ何人モサウ云フコトハ良クナイノダ、サウ云フコトハ我が國民ハヤッテハイカスノダト云フ風ニハナッテ來タ、併シ勞働爭議調停法ノヤウナモノガサウ云フ風ニ一面ニ認容シタ、消極的デアリマシテモ認容シタ結果爭議ガソコニ起キテ來タ、ソコデ爭議調停法ト云フモノガ出來タ、是ハ更ニ一步ヲ進メテ今日ノ如キ國家擧ゲテ協力一致シナケレバナラナイ、是レ故ニ多クノ人達ガ總テ轉向シテ來テ居

ル、アノ轉向ト云フモノガ形ダケノ轉向デアリマシタナラバ、一朝事アル場合ニハ容易ナラヌコトデアル、ソレデアルカラシテ之ヲ平時ニ於テ訓練スル必要ガアル、デ軍ノ工場ノ如キハアノ勞働組合カラ團體ヲ脱退サセテ居リマス、軍ノ工場ガ團體ヲ脱サセタカラ、ソレデ宜イト云フ譯デハナイ、軍需民需モ一致シテヤラナケレバナラヌト云フ今日ニ於テハ、軍ノ工場ニ於テ脱退シナケレバナラヌ狀態デアッタナラバ、民需ノ働カスル所ノ民業モ亦同ジヤウニ脱退ヲシナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ「ストライキ」ト云フモノハ爲スベカラザルモノデアルト云フノデ、之ニ強ヒテ強イ刑罰ヲ以テ臨ムトカ何ト云フコトハ私ハ申シマセヌ、斯様ナコトヲ法文ノ上ニ於テ考ヘテ置クト云フコトガ私ハ惡イト言フノデアリマス、今更治安警察法ノ規定ヲ削ッテサウ云フコトヲシテモ宜イゾト云フ感じヲ與ヘラレルカラ、爭議ヲ誘發シ遂ニハ教育界ニ迄及ンデ私ハ迷惑ヲ蒙ッタ一人デアリマス、有ラユル方面ガ階級闘争ニナッテシマッタ、サウ云フ情勢ヲ一時アノ規定ヲ削ッテカラ馴致シテ來タノデアリマス、然ルニ今日ノ法文ニ於テ尙且此ノ「ストライキ」ハアッデ宜イモノダト云フ風ナ觀

方ヲサレルコトハ私ハ頗ル遺憾ニ思フ、ソコデ第七條ノ規定ヲ見マスルト云フト、勞働爭議ノ豫防解決、勞働爭議ガアルト云フコトヲ解決スルト云フ以上ハ……ナイモノナラバ解決スル必要ハナイ、故ニ勞働爭議ノ豫防ト云フコトヲ書キマスルト、法律ガ勞働爭議ガアルト云フコトヲ認メテ居ルト云フコトニナル、兎ニ角此ノ規定ト云フモノハ勞働爭議調停法ト云フモノト同ジ氣分デ以テ此處ヘ入レテ置ク、舉國一致ヲ要スル所ノ此ノ法文ニ斯克ノ如キコトヲ現シタト云フコトハ私ハ非常ニ遺憾ニ思フ、今後此ノ法文ヲ修正シテ綺麗ニスルト云フコトモ一ツデアリマスガ、左様ニナラヌ場合ニ於キマシテモ、政府ニ於キマシテハ何處迄モ此ノ點ニ付テハ御考ニナラナケレバナラヌ問題ダト私ハ思ヒマス、是ハ唯此ノ勞働爭議一ツノコトカラ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、本案ヲ實行スルト云フ場合ニハ、ソレダケノ覺悟ヲ此ノ全法文ニ付テ考ヘテ行カネバナラヌモノデヤナイカ、サウシテ又徒ニ權利自由ヲ制限スルヲ以テ能事トシテ居ル譯ニハ行キマセヌ、權利自由ヲ制限スルト云フコトハ最小程度ニ置イテ、而モ國家ノ最高目的ヲ達スル、是ガ善政デアリマス、權利自由ヲ何處迄モ遠慮會釋ナ

ク制限シテ、ソレデ國家ノ最高目的ヲ達成シタト云フテモ、ソレハ善政デハナイ、善政ヲ布クト云フノニハ權利自由ノ程度ヲ最少限度、出來ルダケ之ヲ少クシテ、サウシテ舉國一致ノ實ヲ心カラ舉ゲシメテ、而シテ國家ノ最高目的ヲ達スル、是ガ本當ノ善キ政治デアリマス、ダカラ此ノ案ヲ實施スルニ當ッテハ左様ナ用意ガアッテ然ルベキモノナリト私ハ考ヘル者デアリマス、左様ナ次第デ此ノ勅令ノ定ムル所ニ依リ「ト云フトヲ斯克ノ如ク澤山書イタト云フコトハ、一面カラ言ヘバ十條ノ如ク必ズシモ立法事項ニナラヌモノニ迄書イテアル、サウシテ既ニ各本條ニ於テ義務付ケラレテ居ッテ施行勅令デ宜シイモノヲ尙書ク、斯ウ云フコトハ私ハ削ッテ方ガ宜クハナイカト思フノデアリマス、其ノ削ル削ラスト云フ問題ノ前ニ、私ノ述べテ居ル所ニ對シテ、此ノ立法技術ノ上カラ見タ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 御答ヲ致シマス、御説ノヤウニ本案ノ各本條ニ於キマシテ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ文字ガ各條ニ見エテ居リマス、其ノ勅令ノ内容タル事項ヲ仔細ニ検討致シマスルト、多クハ直接ニ臣民ノ權利義務ヲ束縛スル事項ニアラザルモノヲ見受ケル、然ラバ普通ノ執行命令ニ於テ足リルノデハナイカト云フ御意見ハ至極御尤デアリマシテ、殊ニ御指摘ニナリマシタル十五條及其ノ他ノ條項ニ付キマシテハ如何ニモ其ノ感ガアルノデアリマス、本案ハ大體ニ於キマシテ現行ノ軍需工業動員法ヲ殆ド其ノ儘採入レテ居リマスルガ、現行法ニ於キマシテ多クハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」テ文句ガアルノデアリマス、併シナガラ又本法トシテ新タニ加ヘマシタ條項ニ付キマシテモ亦同様ナル例ヲ採ッテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテモ各本條ノ義務ノ範圍ハ如何ニモ廣イノデアリマス、尤モ戰時ニ際シテ國民ニ要求スル所ハ幾ラ廣クテモ宜シイノデアリマスルカラ、一應廣ク義務ヲ課シテアリマス、ナゼ之ヲ必要ノ程度ニ制限スルニ致シ、其ノ義務ヲ執行スル程度及義務ノ執行方法等ヲ明カニスルニハ、矢張り義務ノ一ツノ事項ニ付テハ委任命令ノ必要モアル、斯ウ云フ建前カラ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ノ文句ヲ入レテアリマス、又戰時ニ於ケル事態ノ變遷ニ伴ッテ特ニ必要ヲ要スルヤウナ場合ヲモ豫想シテ居ルモノダト思ヒマス、立法技術ノ點ニ付キマシテハ尙政府委員カラ御説明申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字句ヲ一樣ニ使ヒマシタ一ツノ趣旨ニ付キマシテハ、昨日モ簡單ニ申述べタノデアリマスガ、本法ノ重要性ニ考ヘマシテ、御承知ノ如ク從來執行命令ガ省令其ノ他ノ形ヲ採ッテ居タモノモ多々アルノデアリマスガ、今回ハ勅令ノ形デ統一シタイ、斯ウ云フ趣旨ヲ多分ニ有ッテ居ルノデアリマス、尙本法ハ將來永ク總動員ノ基準トナルベキ恒久法デアリマス爲ニ、本法ニ基キ制定サルベキ勅令ノ内容ニ付キマシテハ一概ニ執行命令ニ當ル分ダケデ宜シイカドウカト云フコトモ今ヨリ定メガタキモノモアリマスノデ、サウ云フ意味モ含メテ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字句ヲ一樣ニ使ッタ次第デゴザイマス

○山岡萬之助君 只今御答ニ依リマシテ、戰時デアルカラ義務ノ範圍ヲ廣クシテ置イタト云フ御説明デアリマス、其ノ點ハ私モ諒トスル者デアリマス、本案ガ戰時ニ於テ活用セラレルト云フコトニ限ラレテ居ル次第デアリマシテ、從ッテソコニ義務付ケラレタル範圍ガ廣イ、ソレデアルカラ或所ニハ勅令ヲ必要トスル、此ノ點ニ付テハ私ハ昨日是ダケノ規定ハ戰時ト云フ規定ヲ被セヌデモ立法上出來ルカ出來ナイカト云フ法

律論ヲ以テ政府ニ伺フタノデアリマス、其ノ點ハ政府ニ於テモ是ハ戰時ト云フコトヲ被セヌデモ憲法ノ建前カラ行ケバ出來ルト云フ御話デアリマス、私ハ其ノ點モ諒トスルノデアリマス、併シソレハ法律論デアッテ、臣民ノ權利義務ノ制限ハドコ迄モ最小程度デナケレバナライ、平時ニ於テ斯クノ如キ規定ヲ以テ出シテモ、政治上ノ觀察カラ行キマスレバ、サウ云フ風ナ法律ガ成立ツ筈ハナイノデアリマス、ダカラ只今ノ御説明ノ如ク戰時ニ於テコソ初メテ斯クノ如キ廣イ意味ニ於テ國民ノ權利義務ノ制限ガ出來ル、斯ウ云フコトニナル、御説明ハ左様ナコトト考ヘマスル、而シテ此ノ勅令ラズツ御列ベニナツタ點ニ付テデアリマ스가、法相ヨリハ軍需工業動員法ヲ御述ニナツテ居リマスルガ、同法ニ於テハ勅令ヲ引イタモノハ確カ三箇所ダケニ止マルト思ヒマス、同法全條二十二條中僅カニ三箇所アル、大體サウ云フヤウニナツテ居リマスガ、二十二條中ニ三箇所位シカナイ、斯ウ云フコトニナレバデス、之ヲズツ讀シテ見テ勅令ニ何カ分ラヌコトヲ書クノデアルトノ感じヲ何人モ有タヌノデアリマス、各所ニ散見シテ勅令ニ委任スルト云フコトハ確カニ必要ナル場合ガアルト思フ、本案ニ於テモ其

ノ勅令ノ決メテ居ル部分ハ、例ヘバ十一條「勅令ヲ以テ指定スル者ニ對シ資金ノ運用ニ關シ必要ナル」云々、是ハ勅令ガハッキリ働イテ居ル、ソレカラ十二條ニ於キマシテモ「勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」是モハッキリ働イテ居リマス、即チ資本増加及社債ノ募集ニ付テ勅令ヲ以テ規定スル、即チ商法ヨリ變ッテ居ル、是モハッキリ分ッテ居ル、斯ウ云フ風ニ勅令ノハッキリ働ク場合ニ於テコソ是ハ書カネバナラヌコトデアリマス、ソレヲ超越シテ、唯前條ニ向ッテ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」即チ詮索至ラナイモノデアルト言ハザルヲ得ナイ、ソコデ政府委員ハ此ノ動員法ハ永久的ナ法律デアルガ、ソレコソ永久ト申シテモ相當ナ期間之ガ働クベキ必要ガアリ、國民モ覺悟シナケレバナラヌ、ソレデアルカラ閣令トカ省令ニ讓ルコトナク勅令デ定メル、斯ウ云フコトデ、即チ重キ意味ニ於テ此ノ規定ヲ入レテ、寧ロ鄭重ニシタノデアルト云フ御説明デアリマスガ、ソレハ私ハドウカト思ヒマス、サウ云フ御説明デ決シテ之ヲ合法化スル譯ニ私ハイカスト思フ、何故ナラバ憲法ノ規定ハ遵守シテ能ク立法シナケレバナラヌ、憲法ノ規定ヲ無視シテ、憲法ニ於テ既ニ第九條ニ明カニ「天皇ハ法律ヲ執行スル爲ニ勅

令ガ出セルト書イテアル、ソレヲ何ヲ苦シンデ此處ヘ持ッテ來テ居ル、法律ノ委任ニナル、此處ハ即チ憲法ニ何カ牴觸スル所ノ嫌ヒガ起ルノデス、デスカラ立法スルニ當ッテハ憲法ノ條章ヲ能ク見テ、其ノ條章ニ於テ與ヘラレタル範圍ニ於テ立法シナケレバナラヌノデアリマス、ソレヲ此處ヘ書イタ方が分リ宜イカラト云フガ如キコトハソレハ言葉ヲ惡クスレバ俗論デアリマス、ドコ迄モ憲法ニ依ッテ行クノデアリマスカラ、ソコデ執行命令デ宜シイト云フコトデアルナラバ、憲法第九條ガ直チニ働クヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、ソレヲ法律ニ持ッテ來テ委任スルト云フヤウナ形デ行クノハ、即チ其處ノ規定ニ於テ支障ヲ生ジテ居ルト言ハネバナライ、辯ズル途ハ私ハナイト思フ、サウ云フ風ニ私ハ考ヘマスル、ソレデアリマスルカラ此ノ點ニ關シマシテ政府ノ御説明ハ此ノ程度ヨリ以上ニ出ヨウトモ思ヒマセスカラ政府ノ御説明ハサウ承ッテ置クノデアリマス、以上申上ゲタ所ニ依リマシテ政府ノ御説明ヲ伺ッテ、第一ニ、本案ハ憲法規定ノ範圍内ニ於テノ立法デアルト云フコトヲ御言明ニナツテ居リマス、從ッテ其ノ運用スル所ハソコノ範圍ニ止マラナケレバナラヌノデアリマス、是レ故ニソレニ依ッテ委

任セラレタル命令ハドコ迄モ各本條ノ規定ノ一部トシテ其ノ所定ノ立法事項ヲ補充スルモノデナケレバナライ、ソレガ當然ナコトダト思ヒマス、政府ノ御答辯ニ依ッテサウナルト思ヒマス、唯、今政府委員ガ施行以外ニ於テモ、或ハ又此ノ限定サレタ以外ニ於テモ何カ將來必要ガアレバ書カネバナラヌカモ知レスト云フヤウナ御言葉ガアリマシタ、書カネバナラヌコトガアルカモ知レスト云フヤウニ御考ヘニナツテ見タ所デモ、ソレガ法制ノ建前カラ根本的ノ御説明ガ右申シタ通りデアリマスカラ、何カ書カネバナラヌ必要ガ生ジタカラト云ウテ、其ノ勅令デ書ケルト云フコトハ私ハ考ヘマセヌ、左様ナコトヲスルコトガ即チ憲法ノ建前カラスレバ適當デナイト云フコトニナルト思フノデアリマス、ソコデ私ハ尙此ノ本案ガ斯ウ云フ形ヲ取ッテ憲法違反ノ疑アリト云フ議論ヲ起シマシタコトニ關シマシテ、此ノ法案ノ立法方ニ付テ更ニモウ少シサウ云フ疑ガ生ジナイヤウナ形ヲ取り得ルモノデアリ、立法上ニ付テ考慮セラレルコトヲ承リタイト思フノデアリマスガ、其ノ前ニ最初伺ヒマシタ本案ノ立法ノ經過デアリマス、立法ノ經過トシテ十年ノ間苦心セラレタモノデアルト云フコトヲ首相ヨリ言明セラレ

マシタ、此ノコトハ本案ノ審議ノ廣イ意味ニ於テ、突然此ノ法律ヲ出シタノデハナイ、長イコトヤッテ來タ、其ノモノガ今日結ンデ茲ニ實トナルノダ、斯ウ云フコトカラ申シマス、其處直接ナ言葉デ云ヘバ不安ト云フヤウナモノハ消エテ來ル、大變其ノ點ハ適當ナ説明デアット思ヒマス、仍テ茲ニ此ノ立案ニ直接參畫セラレタ、若シクハ其ノ立案ノ經過ヲ、御承知ニナッテ居ル程度ニ於テ、立案ノ經過ニ付テ御説明ヲ承リタインデアリマス

○政府委員(植村甲午郎君) 只今ノ點ニ付キマシテ一應御説明申上ゲマス、昨日モ横山總務部長ヨリ計畫ノ關係ニ於テ御説明申上ゲタノデアリマスガ、本條ノ多年ノ研究ニ成ルト云フ點ハ第一點ニ其ノ内容ノ問題デアリマス、内容ニ付キマシテ昨日御説明申上ゲタヤウニ、總動員計畫其ノモノガ先ヅ研究致サレマシテ、サウ致シマス各物資ニ付テ例ヲ取リマスレバ、各重要品目、殊ニ各種ノ需給ノ研究ガ致サレ、又其ノ結果管制申シテ居リマスガ、或ハ消費ノ統制ヲヤルトカ、配給ノ統制ヲヤルトカ云フ必要ガ見出サレマシテ、サウシテソレガ各重要品目ニ付テ色々ノ研究ガ出テ參ルノデアリマスガ、ソレヲ綜合致シマスルト、其

處ニ全般ニ對スル規整ヲ致ス全貌ガ出テ參ルノデアリマス、其ノ中ノ立法事項ニ該當スベキモノヲ集メマスルト、其處ニ總動員法案ノ外貌ガ出テ來ル、斯ウ云フ順序デ研究ガ進ンデ參ツタノデアリマス、デ昨日モ申上ゲタヤウニ基本ノ規定ト申シマスルカ、計畫ノ外輪ト云フモノハ、既ニ資源局ガ創設セラレマシテカラ兩三年經チマシタ昭和五年ニ出來マシテ、其ノ後各種ノ研究ガ遂

ゲラレテ、遂ニ本案ニナツタト云フ經過デアリマス、ソレカラ尙此ノ法案其ノモノノ形ガ作ラレマスルニ付キマシテモ何度カ案ガ出來タノデアリマス、デ是ハ滿洲事變ノ前カラモ、所謂一案ト云フヤウナモノハ既ニ出來テ居ツタノデアリマス、サウシテ支那事變ノ起リマス時ニ既ニ内容的ニハ一ツノ案ガ相當進ンデ出來テ居リマシタ、ソコデ或ハ臨時議會ニ於テソレヲ提出シタイト云フ議論モアツタノデアリマス、併シナガラ法案ノ全體ノ内容ト云フモノガ相當重大ナモノデアリマスルシ、會期ノ短イ臨時議會等ニ於テ之ヲ審議致スコトハ適當デナイト云フ點モゴザイマスルシ、又多少法案其ノモノニ付キマシテモ、尙慎重ニ研究ヲ致サナクチャナラヌ部分ガ殘ツテ居リマシタノデ、矢張り通常議會ニ於テ御審議ヲ願フ方ガ適

當デアルト云フノデ、今度ノ議會ニ提案ニナツタ次第ゴザイマス、大體ノ經過ハ今申上ゲタ通りデゴザイマス

○山岡萬之助君 只今立案ノ經過ヲ承リマシテ、永イ間研究ノ結果デアルト云フコトハ具體的ニ了承致シマシタ、サウ云フ風デアツテコソ初メテ本案ト云フモノガ制定ノ土臺ト云フモノガハッキリ致シテ居ルノデアリマス、サウデナクシテ急ニ是ガ出來テ來タト云フコトデアレバ法案制定ノ土臺ト云フモノガ出來テ居ラスト云フコトニナル、御説明ニ依リマシテ其ノ點ハ了承致シマシタ、ソコデ私ハ茲ニ一ツノ意見ヲ申述ベテ政府ノ御所見ヲ承リタイコトハ即チ動員計畫ト云フモノガ之ガ平時ニ於テハ大事ナモノデアアル、ソレニハ基本計畫ガアリ、モウ少シ進ンダ廣イ計畫ガアル、要スルニ動員計畫是ガ平時ニ於テ成立ッテ居ル、ソレガ一朝事アル場合ニ於テ戰時若シクハ準戰時ニ於テ發動スル、斯ウ云フコトガ即チ動員法ノ要領デアルト思フノデアアル、サウ云フ風ナ其ノ自然ノ狀態ヲ其ノ儘ニ法案ニ作リ上ゲラレマシタラ私ハ非常ニ宜イ事デアッタト思ヒマス、然ルニ之ヲ見ルト云フト動員計畫ト云フ方ハ平時ノ動員計畫ト云フ方ハ寧ろ終ヒノ方ニ持ッテ來テ、僅カニ書イテ居

ル、戰時ニ動ク方ダケヲ力ヲ入レテ書イタル、サウ云フ所ニ此ノ自然ノ動キト云フ事實ノ動キヲ缺イテ居ル、其ノ儘ニ現シテ居ラナイ、外國ノ立法モ參酌セラレタト云フコトヲ段々御説明デアリマシタガ、ソコデ茲ニ參考ノ爲ニ御提出ニナリマシタ「イタリア」ノ動員法、是ハ相當ニ良ク出來テ居ルト私ハ思フ、第一條ニ於テ「政府ハ國家組織ヲ戰爭ニ適スル樣變更スル爲平時ヨリ之ヲ準備スルノ任務ヲ有ス」是ガ第一條デ、抑、大切ナコトヲ第一條ニ於テ謳ッテ居ル、即チ動員計畫ヲスルノダゾ、是ガ即チ動員ノ本體デアルト云ウテ、茲ニ明カニシテ、ソレカラ第二條ニ於テ動員ト云フコトハドウ云フコトダト云ヘバ平時カラ即チ戰時ノ國家組織ニ變ッテ行ク、斯ウ云フコトヲ明カニシテ居ル、即チ計畫カラソレガ動員狀態ニ動イテ行クト云フコトヲ第二條ニ於テ示シマシテ、ソレカラ更ニ向フヘ段々ト書イテ行ッテ、「準備」ト云フ言葉モアリマスシ、「平時ニ於テ」ト云フ言葉モアリマス、其ノ他「動員ニ際シ」ト云フコトハ勿論戰時ヲ意味シテ居ル、サウ云ツタ風ニ規定致シマシテ、大體十五條バカリノモノデアリマスガ、相當能ク私ハ書カレテ居ルト思フ、何モ外國ノ立法ガドウデアルト云ウテ私ハ日本ガ

ソレデナケレバナラヌト申スノデハナイ、只今段々立案ノ經過ヲ御説明ニナツタヤウデアリマスガ、サウ云フ風ナ自然ノ事實ノ關係ニ基キテ茲ニ立案スルト云フト極メテ分リヨク色々ナ問題ヲ起サスデアラウ、斯様ナコトカラ「イタリア」ノ書方即チ準備計畫ヲ基礎トシテ動員ヘ計畫ヲ基礎トシテ、ソレガ戰時狀態ニナレバ動イテ行ク、斯様な次第デアリマシテ、此ノ本案ヲ制定スルニ當リマシテモ動員計畫ヲズツト叙シテ、サウシテ軍ニ對スル動員令ガ下ツタ時ニ於テ或ハ其ノ字句ハ「際シ」デ行キマスカ、動員令ノ下ツタ際ニ於テ其ノ計畫ハ活動スル、斯ウ云フ風ニナリマスレバ決シテ憲法ノ大權問題ト云フモノハ起キル餘地ハ私ハソコニナイト思フ、デサウ云フ風ナコトニ關シマシテソコ迄此ノ法案ヲ改造スルト云フコトハソレハ相當手ガカ、ルノデアリマス、併シナガラ決シテソレハムツカシイ出來ヌコトデハアリマセス、サウ云フ趣旨ニ變ヘルト云フコトハサウエライムツカシイ問題デハナイ、ガ併シソレハ可ナリ根本ノ立テ方ガ準備規定ヲ基礎ニシテ出テ行クノデアリマス、法案ノ立テ方ハ此ノ法案ハ實施規定ヲ基礎ニシテ、準備規定ヲ附隨シテ居ル、デアラカラシテ本末ガ變テ行クコトニナリ

マス、精神ヲサウ云フ風ニ變ヘル立案ヲスルト云フコトハ、サウ私ハムツカシクナイト思フ、政府ニ於テハサウ云フ風ニスルコトガ善イノデアルカ惡シイノデアルカ、サウ云フコトニ關スル先ヅ一ツノ御所見ヲ承リタイ、ソレカラ次ニ今一點御尋ヲ致シタイ、其ノ點ハデス、右ニ申上ゲタヤウニ準備規定ヲ基礎ニシテ、而シテ動員計畫ト云フコトニナリマスレバ誠ニ自然デアリマシテ、ソコ迄之ヲ改造スルト云フコトハ可ナリ大キイ問題ニナルトスレバ、第二ニ於テ憲法ニ牴觸スル疑ガアル、大權干犯デアルト云フヤウナ議論ノ起キタ所ト云フモハ、ドウシテ見タ所デ此ノ勅令委任ト云フモノヲ斯クノ如ク多ク書イタ結果デアリマス、政府ニ於テハ軍需工業動員法ニ學ンダカラ少シモ差支ナイ、斯ウ云フコトヲ御説明ニナツテ居リマスルガ、先キニ述べマシタヤウニ軍需工業動員法ハ二十四條デ、其ノ中ニ三箇所ホカ勅令ニ委任シタ所ハナイ、其ノ上ニ軍需工業ト云フト私ガ申上ゲル迄モナク軍需品ニ關シ、而モ工業ニ關スルモノデアアル、今度ノハ民需品ニ關シ官業民業ノ全體ニ互ツタ動員法デアリマス、サウスルト云フトデス、コチラハ根本ニナル、軍需工業動員法ハ枝葉デアアル、之ヲ法律的ニ言

ヘバ原則ト例外デアアル、例外規定ノ方ハソレガ宜シイカラ根本規定モソレデ宜シイノデアルト云フ説明ハ説明ニナラナイノデアリマス、宜シクモット大所高所カラ觀テ、此ノ總動員法ヲ御立テニナラナケレバナラヌ、參考ニスルノハ結構デアリマス、ソレアルガ故ニ動員法モ今度ノ法案モ亦ソレデ宜シイト云フノハ、矢張り例外ヲ以テ原則ヲ説明スルヤウナ嫌ヒガアル、ソコデ此ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ關係ニ歸リマシテ之ヲ具體的ニ此ノ憲法ノ條文ト比較シテ申シテ見マスルト云フト、斯ウ云フコトニナルト私ハ思フ、第一條ニ於テ定義ヲ與ヘマシテ、國家總動員ト云フコトハ戰時ニ際シテ國防目的達成ノ爲ニ人的、物的資源ヲ統制運用スル、ト斯ウ云フコトガ國家總動員デアアル、ソレカラ國家總動員ノ物資ト、總動員業務ヲ御決メニナリマシテ、進ンデ四條以下ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトヲ御書キニナツテ居ル、此ノ事ハ第四條ニ書イタコトト以下二十條迄ハ少シモ文體ガ變ラナイ、「政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトヲ殆ド變ラナイコトヲズツト之ヲ書イテ居ル、デスカラ此ノ四條ヲ借リテ説明スレバソレデ分ルノデアリマス、「戰時

ニ際シ勅令ノ定ムル所ニ依リ」斯ウ云フヤウニナリマスルカラ、即チ憲法ノ三十一條ニ於テ「戰時又ハ國家事變ノ場合ニ於テ天皇大權ノ施行ヲ妨クルコトナシ」斯ウアル、文字カラ言ヘバ之ニピッタリ合ッテ來ル、即チ「戰時ニ際シ」「勅令ノ定ムル所ニ依リ」之ヲ非常大權ノ勅令ト斯ウ見レバサウナツテ來ル、ソコニソレダカラ三十一條デヤレバ宜シイ、何ゾ其ノ法律ノ委任ヲ俟ツノデアルカ、又此ノ憲法ノ三十一條ヲ働カセレバ相當デアルト云フヤウナコトニ形ノ上カラナツテ來ルノデアリマス、私ハ昨日來伺ッテ、本案ハ決シテサウ云フモノデヤナイト云フコトハ了承致シテ居ルノデアリマスルガ、形ノ上ニ於テ「戰時ニ際シ勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアルカラ、而モソレガ實施規定ノ總デニアルノデアリマスカラ、是ニ於テカ其ノ施行勅令トカナントカ云フコトデナシニ、直チニ此ノ三十一條ニ於テ書ケル、戰時ニ於テ書ケル事柄デアルト云フコトカラ、非常大權ノ勅令ニ行ケルノデハナイカト云フ議論モ生ジ、又ソレデ宜イノデハナイカト云フ、政府ノ方ニ於テハイヤ此ノ規定デ足ラナイ所ハ、ソレハ非常大權ノ勅令デモ出來ルノデアルト云フ、斯ウ云フヤウナ説明ヲ段々爲サツタヤウニ私ハ思フノデ

アリマス、ソレデアリマスルカラシテ、若シ此ノ今日迄ノ違憲ノ病ヲ治サウトスルナラバ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フヤウナ不必要ノ規定ハ先刻法相モ御認メニナツタ此ノ第四條、第五條ノ如キ、或ハ十條ノ如キ、少クトモ要ラナイ所ダケハ削ツタガ宜イト思フノデス、サウスレバ其ノ病ト云フモノハ其處ニ治ツテ來ル、ナゼナラバ其ノ法律自體ダケデ動イテ行クノデアリマス、決シテ、勅令問題ハ起キテ來ナイノデス、而モ其ノ非常大權ノ問題ト云フモノガ其處ニ入ッテ來ナイ、「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアル、政府委員ノ御説明ハドコ迄書クカ分ラナイト思フ、ソコデソレハ非常大權ノ問題ハ勅令ニ隱レテ……此ノ委任勅令ニ隱レテ行クンデナйкаト云フヤウナ惡ク想像ラスルヤウニナル、私ハソシナ惡ク想像ラシクナイノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスルカラ、之ヲ必要デナイ所ハ削ツタ宜シイト斯ウ思フノデアリマス、ソレニハドウ云フモノデアラウカ、ソレカラ今一ツサウ云フコトニ付テ病ノ起キテ居ル本ハ是ダト思フノデス、各本條ニ「戰時ニ際シ」ト書イテアル、是ハ矢張り立法技術ノ上カラ言ヘバ餘リ良ク出來テ居ルモノデハナイノデアリマス、ナゼ

カト申シマスレバ、第一條ニ既ニ政府ノ原案ハ定義ヲ置イテアル、「國家總動員トハ戰時ニ際シ」ト斯ウ書イテアル、ソレデアリマスカラ、之ヲ繼ギ足シテ讀ンデ參リマスルト二重ニナルノデス、第四條デ私ハ申上ゲマス、「政府ハ戰時ニ際シ其ノ下ヘ」國家總動員」ト云フ字ヲ入レルナラバ、「戰時ニ際シ」……第一條ニ戻リマシテ「國家總動員トハ」以下ガ來ル譯デス、「政府ハ戰時ニ際シ」復「戰時ニ際シ」ト是ガ來ル譯デス、ダカラ餘計ナコトヲ其處ニ書イテアル、「戰時ニ際シ國防目的達成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有効ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スル必要アルトキハ」ト斯ウ働クノデス、「總動員上必要アルトキハ」……即チ茲ニ於テハ「戰時ニ際シ」ト云フコトハ無用ナ文字デアルコトニナル、サウシマスルト云フト、此ノ第四條ノ所「國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト斯ウ云フ形ガ茲ニ出テ法ガ動クト申シテ宜カラウト思ヒマス、サウスルト云フトデス、次ニ此ノ準備規定ノ所ノ二十一條デアリマスガ、其ノ以下デモ同ジヤウナコトガ書イテアリマシテ、此處ヘ來ルト「戰時ニ際シ」ト云フ字ヲ取リマシテ、「國家總動員上必要アルトキハ」ト斯ウ御書キニナッテ居ル、之ヲ第一條

ニ持ッテ來テ讀ミマス「ト云フト」政府ハ戰時ニ際シ國防目的達成ノ爲「云々」資源ヲ統制運用スル必要アルトキハ」ト斯ウ云フコトニ讀ムヨリ外ハナイノデアリマス、此處ニ書イテアル「國家總動員」ト云フ字ハ、ソレハ別ナ意味デ書イテアル、第一條ノ定義ヲ除イテ考ヘレバソレハ又サウ解釋出來マスケレドモ、第一條ニ左様ナ定義ヲ與ヘテ居リマスルカラ、サウ讀ムヨリ外ハナイ、サウシマスルト云フト、二十一條ニ來マス「ト云フト、是ハ平時ノ規定デアル、而シテ亦戰時ニ於テモ働クト云フコトハ段々政府ノ御説明ニナリ、又其ノ通りデナケレバナナリト思ヒマス、平時ダケ働イテ戰時ニ於テハ此ノ規定ハ働イテ居ラスト云フトハ、例ヘバ二十一條ニ於テ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ檢査スル、是ハ戰時中ト雖モ檢査シナケレバナラヌコトダト思フ、ソコデ平時ト戰時ト問ハズ準備規定デアル、ソレデアルカラ、是ハ「政府ハ戰時ニ際シ國防上必要ナル」ト云々ト云フコトデハ是ハ困ルサウ云フ風ニ是ハナル、デ恐ラク政府ハサウ云フコトニ付テハ、第一條ハ定義ガアツテモ、二十一條迄ハ「戰時ニ際シ」ト書イテアル、二十一條カラハ「戰時ニ際シ」ト書イテナイカラ、ソコノ對照上ニ於テ二十一條以下ハ戰時デナク

テ宜イ、其ノ前ノ方ハ「戰時ニ際シ」ト書イテアルカラ、戰時ダト斯ウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ラレルカト思ヒマス、私ノ申シマシタ點ハ第一條ノ定義ヲ與ヘテ、ソコデ形式上字句ヲ以テ説明シテ行クト云フト、二十條迄ハ國家總動員上ト言ヘバソレデ足りテ居ル、二十一條以下ハ「總動員準備ノ爲」、是ダケニスレバ宜イノデアリマスカラ、コ、ノ文字ノ修正ト云フモノハ極メテ簡單ニ修正出來ルモノデアリマス、デ第一點ノ動員計畫ト而シテソレガ動員セラレル、斯ウ云フ所謂「ナチュラル」……自然ニ行ク方面ニ付テ、サウ云フ風ニスル方ガ望マシイモノダト私ハ思ヒマスガ、ソレニ對スル政府ノ御所見、第二點ノ形式上ノ問題、是ハ即チ憲法ノ三十一條ト對比シテ形式上ノ煩ヒヲ來タス、病ヲ起ス所ノ本デアルカラ、少クトモ適當ニ其ノ字句ヲ修正シテ、「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ所ヲ整理シ、又「戰時ニ際シ」ト云フ所ヲ整理シテ、サウ云フコトヲ以テ……實質上ニハ何モ變リノ無イ所デアリマスカラ、唯今日迄サウ云フ風ニ重大法案ニ對シテ疑問ヲ殘シテ、サウシテ其ノ儘ニ舉國一致ノ實ヲ擧ゲロト云フ行キ方デハ私ハ宜クナイト思フ、ダカラシテ其ノ病ヲ此ノ際除クコトガ私ハ適當ナリト思ヒマ

スルカラ、ソレニ付テ政府ノ御所見ヲ一應承リタイ、一應今承ッテ尙又……

○政府委員(植村甲午郎君) 只今ノ第一點ノ平時準備ト戦争ガ起キマシタ時ノ計畫ノ實施トノ關係ニ付テ一言申上ゲタイと思ヒマス、先程申上ゲマシタヤウニ、平時カラ云フコトニナル譯デアリマスガ、其ノ時ニ必要デアルコトノ豫想サレル立法事項ヲ纏メテ今度ノ法案トシテ制定セラレテ置キタイ、各種ノ計畫ガ立テラレテ準備サレテ居ルノデアリマスルガ、ソレガ戰時ニナリマシテ、其ノ時ノ狀況ニ即應シタ態様ニ依ッテ實施サレル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、詰リ平時ニ於テ計畫トシテハ勿論準備シテ參ルノデアリマスルガ、ソレガ戰時ニ行ハレル根據法規ト云フモノヲ平時カラ持ッテ居タイ、隨ッテ戰時ニ適用致サレマス各條ノ法規ト云フモノハ制定致シマス云フコトガ又同時ニ一ツノ準備ニナル譯デアリマス、デ即チ法規ガ定マリマスレバ、準備ノ方モ從ッテ具體的ニ進メ得ル譯デアリマシテ、此ノ計畫内容ノ具體化或ハ詳細化ト云フヤウナ點ニ付テ非常ニ進メ得ル狀況ニナルと思フノデアリマス、ソレカラ平時ノ方ノ關係ニ付キマシテハ、大體此ノ計畫ノ關係、仕事ノ進ミカラ申シマ

スルト、調査研究ヲ致シマシテ計畫ヲ致シマス、サウシマス時平時カラ相當ノ施設ヲシナクチャナラヌモノガ自ラ分ッテ參リマス、サウ致シマス此ノ法案ニ付テ平時カラ施設ニ努メテ行ク、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、平時ノ施設其ノモノガ非常ニ大切ナ問題ニナッテ參リマス、之ニ付テハ勿論努力ヲ致シ、又本法案ニ於キマシテモ第二十一條ニ規定ノアリマスノモ其ノ爲デゴザイマス、又本法案以外ニ於キマシテモ各種ノ施設ガ段々進メラレツ、アルノハ御承知ノ通りデアリマス、ソレカラ外國ノ立法、「イタリー」ラ動員法ヲ例ニ御話デゴザイマシタガ、外國ノ立法ノ内容ヲ見マ

スルト、ソレハ其ノ國ノ國柄ノ違ヒマス關係ト存ジマスルガ、我が國デ申シマスレバ、或ハ官制ニ定メタラ宜イヤウナ事項ト云フヤウナモノガ非常ニ入ッテ居ル譯デアリマス、詰リ總動員ヲ致シマス時ノ機關、組織ニ關スル規定ト云フヤウナモノハ恐ラク我が國ト致シマシテハ官制デ定メラレルヤウナ事項ニナッテ參ラウト思ヒマス、其ノ組織ヲ如何ニスルカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ現在ニ於テモ色々マア研究ヲ致サレテアル部分ニナル譯デゴザイマス、尙産業ノ關係ト云フヤウナ點カラ致シマシテ、本法ニ

於テモ或ハ組合制度ノ利用デアルトカ或ハ組合其ノモノヲ特別ナ組合ヲ作ラセルト云フヤウナ規定ガ盛ラレテアル次第デゴザイマス

○政府委員(青木一男君) 御尋ノ第二點ニ付テ御答申上ゲマス、軍需工業動員法ニハ御説ノ如ク「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字句ノナイ事項ガゴザイマス、ソレデ軍需工業動員法第二條ニ依リマス軍需工場ヲ管理シ、使用シ又ハ收用スルコトヲ得ト云フヤウナ意味ノ規定ガアルノデゴザイマシテ、今回ノ總動員法第十三條ニ大體該當スル條項デアリマスガ、此ノ第十三條ハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字ノ入ッテ居ル點ガ最モ著シイ相違デゴザイマス、此ノ範圍ニ付キマシテハ寧ロ軍需工業動員法ノ如ク此ノ字句ハナイ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ御意見ノヤウニ伺ハレルノデアリマスガ、政府ハ左様ニ考ヘマセヌノデ、寧ロ今回ノ形態ガ宜シイト考ヘテ居リマス、軍需工業動員法ノ如ク「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字ガナケレバ此ノ法ノ運用ニ關シマシテハ準則タル法規命令ナシニ直チニ行政處分ノ發動ニ行キ得ル、併シナガラ實際問題ト致シマシテサウ云フヤリ方ヨリモ大體ノ準則ヲ法規命令ニ依ッテ規定シタ方ガ圓

滑ニ行クノデアリマシテ、其ノ實例ト致シマシテハ軍需工業動員法ガ斯カル字句ナキニ拘ラズ、實際ノ運用ニ於テハ現ニ工場事業場管理令ト云フモノガ勅令ニ依ッテ制定サレテ居ルノデアリマス、今回ハ其ノ經驗等ニ鑑ミマシテ、一應準則タル勅令ヲ出シテ國民ニ之ヲ示シ據ルベキ所ヲ出來ルダケ示スト云フ行キ方ヲヨリ適當ナルモノト考ヘタ次第デアリマス、次ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字句ハ、其ノ内容ガ執行命令ニ該當スルヤウナ場合ニハ不用デハナイカ、ソレガアルガ爲ニ誤解ヲ生ジテ憲法ノ問題迄モ起キルノデアルカラ寧ロ避ケテハドウカト云フ御趣旨ノヤウニ伺ッタノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ昨日來山岡サンカラモ御指摘ノアリマシタ如ク、此ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字句ガアリマシテモ、此ノ臣民ノ權利義務ヲ規定スル内容ト云フモノハ本法ノ範圍ヲ一歩モ出ナイコトハ是ハモウ御説ノ通りデアリマス、是ガ立法事項ニ關スル委任命令デアラウト、或ハ純粹ノ執行命令デアラウト其ノ點ハ差異ナイ、全ク法律ノ各本條ニ規定シテ居ルモノヨリモ一歩モ出デナイコトハ是ハモウ御指摘ノ通りデアリマシテ、御心配ノ點ハソレガ或ハ此ノ法規ニ規定シテ居ルコトヨリモ外ヘ出

ルヤウナコトヲ恐レラレルノデハナイカ
ト云フ御懸念ト伺ヒマスノデ、此ノ點ハ
幸ヒ本委員會ニ於テ適切ナル御質問
ニ與カリマシテ此ノ誤解ハ一掃シ得ル
ト考ヘマス、誤解ガ一掃シ得ルナラバ
此ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字句ガ
アツテモ少シモ差支ナイ、其ノ誤解ヲ不十分
ナ所ハ更ニ御説明申上ゲマシテ原案ノ通り
參リタイト考ヘテ居リマス、次ニ「戰時ニ際
シ」ト云フ字ガ第二十條迄アルガ、是モ誤解
ノ種デアリ又不要ナモノデアルカラ要ラナ
イデハナイカト云フ御趣旨ノ御尋ガアツタ
ノデアリマスガ、第一條ニハ總動員ト云フ
モノノ定義ヲ掲ゲマシテ「戰時ニ際シ國防
目的達成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシ
ムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂
フ」斯ウ定義ヲ掲ゲタノデアリマス、而シ
テ此ノ國家總動員ノ目的ヲ達成スル爲ニ國
家ガ爲スベキコト、或ハ政府ガ其ノ權限ト
爲シ得ルコト、即チ此ノ目的ヲ達成スル爲
ニ國家權力ノ發動自體ハ戰時ト平時ト兩方
ニアリ得ルノデアリマス、第二十一條ニ於
キマシテハ只今申述べマシタ國家總動員ノ
目的ヲ達成スル必要ガアル時ハ之ヲノ事項
ニ付テ申告セシメ又ハ検査スルコトヲ得ト、
斯ウ書イテアルノデアリマシテ、第二十條

以前ニ特ニ「戰時ニ際シ」ト規定致シマシタ
ノハ、例ヘバ第四條ニ付テ申シマスレバ、
國家總動員ノ目的カラ考ヘテ、或ハ平時ニ
於テモ此ノ徵用ト云フコトヲヤツタ方ガ或
ハ比較的ニハ便利ナノカモ知レマセヌノデス
ガ、併シ此ノ法ノ目的カラ考ヘテ此ノ「徵用シ
テ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得」ト云
フコトハ戰時ニ限ッテソレヲ行フノデアアル
ト云フコトヲ限定的ニ規定シタノデアリマ
ス、第二十一條以下ハ、例ヘバ申告、検査
ト云フヤウナコトハ不斷カラ出來ルヤウニ
シテ置キタイ、第二十條以前ノ此ノ制限、
禁止或ハ命令ト云フヤウナコトハ、戰時ニ
限ッテ發動シ得ルヤウニ限定シテ置キタイ、斯
ウ云フ意味デアリマシテ、戰時ニ際シト云
フ字ハ必要デアルト考ヘテ居リマス
○山岡萬之助君 私人只今質問致シマシタ
第一點、第二點ニ對スル御答辯ニ付テ、第
一點ニ付テハ實施規定ヲシテ置ケバ、平時
ニ於テモ其ノ準備ガ出來ルコトニナルカラ、
斯ウ云フコトニシテ置クコトガ宜シイノダ
ト、私ハ其ノ趣旨ガイケナイト云フコトハ
先刻申サヌノデアリマス、準備ヲ平時ニ
於テ十分ニスル爲ニ其ノ規定ヲシタカラ
ハ、面ヲ異ニシテ居ル即チ法文ノ動キ方
ヲ別ニシテ、内容ハ同ジコトデ宜シイ、寧

ロヨリ以上平時ニモツ書イテ宜イカモ知レ
マセヌガ、平時規定デアリマスルト是ハエ
ライ問題ガ起キテ來ナイ、準備ヲスルコトハ
デス……今日資源調査法……資源局時代ニ
ヤツテ居ルコトハ誰モエライ問題ニシタ人
ハナイノデアリマス、デアリマスルカラシ
テ、平時ノ準備規定ヲ書イテ、ソレカラ其
ノ中必要ナルモノハ動員サレル場合ニ於テ
ハ働ク、斯ウ云フヤウナ書キ方ハ十分出來
ルノデアアル、然ルニ私ノサウ云フ風ナ立法
技術ノ質問ニ對シマシテハ、實施規定ヲ書
イテ置ケバ平時準備ガ出來ルカラ書イテ置
ク必要ガアルト、是ハ唯必要論デアツテ、直
接ニ私ノ質問ニ對シテ満足スル御答ニハナ
リマセヌノデアリマス、次ニ又戰時ニ際シ
云々ト云フコト、ソレト、勅令ノ定ムル所
ニ依リト云フ御答デアリマスガ、二十四條
カラ二十條迄、是ハ戰時ニ際シテ働ク規定
デアルカラ、是ダケ臣民ノ權利ガ制限出來ル
ノダト、平時ニ於テハ斯ウ云フコトハ立法
上適當デナイト云フコトハ先刻申上ゲタノ
デアリマス、デアリマスルカラ、「戰時ニ際
シ」ト云フ字ヲ除キマシテモ第一條ノ定義
ノ關係カラ國家總動員上ト云フコトハ戰時
ニ際シテト云フコトガ籠ッテ居ルノデアリ
マス、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマ

スルガ、併シ矢張り戰時中ニノミ働カセル
ノダカラ此ノ字句ガ必要ダト云フコトハ私
ノ問ウテ居ル所ニ合ッテ居ル御答デハナイ
ノデアリマス、而シテ又「勅令ノ定ムル所
ニ依リ」ト云フコトハ此ノ法律ニ全部置イ
テ置イタ方ガ宜シイト云フ、原案ヲ適當ナ
リト云フ御考ニ付テモ是モ稍、意見ノ分レニ
モナリマスルガ、只今私ノ申上ゲルコトモ
御了承相成ツタと思ヒマスルノデ、是レ故ニ
是等ノ此ノ法律案ヲ如何ニ取扱フカト云フ
コトニ關シマルス問題ノ質問ハ此ノ程度ニ
シ、御答ヘテ以上求メマセヌ、唯ドウゾ
宜シク御考慮ヲ願ヒタイ問題デアリマス、
サウ云フ次第デ、私ハ此ノ本案ニ對シマシ
テ昨日來長イ時間ヲ得テ色々伺ヒマシタガ、
大體ニ於テ御答辯ヲ得テ、趣旨ノアル所ハ
承知致シマシタ、大體ノ質問ト致シマシテ
ハ此ノ程度ニ於テ一應止メマシテ、又機會
ガアリマシタ時ニ御意見ヲ伺ヒタイト考ヘ
マス
○塚本清治君 質問ノ御通告ノ方ガオアリ
ニナリマスレバ、私強ヒテ只今デナケレバ
ナラナイト云フノデモアリマセヌ、ソレカ
ラ又私ハ少シバカリ御質問ヲ申シタイノデ
アリマスガ、ソレモ今デナクテハナラナイ
ト云フノデアリマセヌガ、先刻來、邁ッテ申

シマスト云フト、昨日來ノ質問應答ニ關シテ重大ナル疑惑ヲ私起シマシタノデ、其ノ點ダケヲ、今若シ他ノ御質問ノ方ノ御邪魔ニナラナケレバ許シテ戴キタイと思フノデアリマス、併シ強ヒテト申シマセヌ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 只今デ宜シウゴザイマス

○塚本清治君 外デモアリマセヌデスガ、私自身此ノ法案ヲ讀ミマシテ、或ハ衆議院ノ議論、或ハ世間ニヤカマシクナッテ居ル議論等ニ付テ質問申シタイコトハ後ニ譲リマシテ、差當リ伺ッテ置キタイコトガアル、此ノ國家總動員法案ニ、數ヘテ三十一箇所勅令ノ定ムル所ニ依リト云フノガアルサウデス、私其ノ箇所、數迄モ實ハ調べテ居リマセヌケレドモ、澤山アルコトハ事實デアリマス、其ノ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フコトハ、私甚ダ迂濶デアリマシタガ、是ハ所謂委任命令ト解シテ居リマシタ、ソレガ良イトカ惡イトカ云フ議論ガ盛デアルト信ジテ居リマシタ、處ガ昨日來ノ司法大臣ニ對スル質問、又司法大臣ノ御答辯、其ノ他政府委員ノ御答辯ニ依リマスト云フト、ソレハ必ズシモサウデナイヤウナ風ニ解セラレ、現ニ山岡君ノ御質問ニ對シテ御答ニナッタ處、山岡君自ラ解シテ、四條、七條、何

條デシタカ、數箇條ノ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フノガアルノハ、正シクアレハ執行命令ヲ認メタモノデアルト解スルト仰シヤッタ、ソレニ對シテ政府ハ何モ言ウテゴザラス、ソレデ其處ノ點ヲ私考ヘマスルト、是ハ私トシテハ非常ニ重大ナル疑惑ト考ヘバ、之ヲヤカマシク委任命令ガ宜イダノ、イカヌダノ、憲法ノ精神ニ反スルダノト云フコトハモウ初メカラ問題ニナラナイ、サウ云フコトヲ問題ニサセタコトガ、此ノ法案ヲ審議スル議會カ、政府カ、此ノ場合非常ナマア何ト申シマスカ、ヨクナイコトデアル、マツイコトデアッタ、少クトモマツイコトデアッタト言ハザルヲ得ナイ、此ノ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フノガ委任命令デアルト云フノデ、謂ハバ大騷ギヲシタ、國家總動員法案ノ中心ハ其處ニ問題ガ集中シテ居ル、此ノ點ハ獨リ私ダケノ疑惑デアルナラバ幸ヒト存ジマスルケレドモ、私ノ觀察致シマスル所デハ、ソレハ皆サウ思ッテ居タシデヤナイカ、皆ト言ウテ惡ケレバ多數ガサウ思ッテ居タシデヤナイカト私ハ觀察致シマス、デ、司法大臣ニ……司法大臣ト申シマスカ、國務大臣トシテ伺ヒマスガ、此ノ中デ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト此處ニ

アリマス其ノ勅令ハ、執行命令デアルモノデアルト云フノハ何條ト何條トノ規定デアリマセウカ、ソレヲ先ツ伺ヒタイ、次ニハ……昨日カラ司法大臣ガ御答ニナッテ居ルノデスカラ、司法大臣カラ御答辯ヲ願ヘバ能ク政府ノ意思ノアル所ガ分ッテ宜イト思ヒマスガ、若シ御差支ナケレバサウ願ヒタイ

○國務大臣(鹽野季彦君) 各條ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマス其ノ勅令ノ内容ハ如何ナモノデアラウカト云フコトヲ衆議院ニ於テモ論議セラレタ所デアリマシタガ、ソレニ付キマシテ施行要綱ナルモノヲ參考ニ御廻シヲ致シタノデアリマス、大體各本條ノ義務ニ直接スルモノ、義務ノ内容トナルモノニ付テノ規定ハ委任命令トナリマスコトハ勿論デゴザイマスルガ、其ノ以外ニ於キマシテ執行命令ニ於テ規定スベキ事柄モ同時ニ其ノ勅令ノ中ニ書加ヘテモ差支ハナイノデアリマスカラ、施行要綱ノ中ニ執行命令ヲ以テ足リルモノガ相當數アルノデアリマス、唯義務ヲ實行致シマスル上ニ於テ事項ガ只今ヨリ想定サレルモノニ付キマシテハ之ヲ設ケルコトガ出來ルノデアリマス、戰時ニナリマシテ其ノ戰爭ノ規模若シクハ相手國ノ如何ニ依リマシテ總動員

ノ運用ノ上ニ於キマシテ本法各條ニ於テ臣民ノ自由、財産ヲ制限致シマスル其ノ程度方法ニ付テハ、種々其ノ事態ニ即應スル必要カラ、種々ナル必要ガ生ズルデアラウ、ソレヲ只今ヨリ豫想シ得ナイモノモ生ズルコトト推測セラレルノデアリマスルカラ、其ノ部分ニ付テハ茲ニハツキリト書ク譯ニ參ラス、ソコデ左様ナ部分ハ何レモ委任立法トシテ、委任命令トシテ其ノ内容ヲナスモノデアアル、斯ウ云フヤウナ説明ヲ致シテ居ッタノデアリマス、第十五條ニ關係スル施行命令デ足リルノデアリマス、併シナガラ各條ノ細カイコトニ付キマシテ立案ノ技術上政府委員カラ御説明申上ゲタ方ガ宜シイト考ヘマス

○塚本清治君 誠ニ不幸ナコトニハ司法大臣ノ御答辯ハ私ノ承ラムトシタコトニ對シテタツタ最後ノ一問ダケガ私ニ解セラレル、ソレハ法案第十五條ノ謂フ所ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」是ダケガ執行命令デアアル、ソレダケハ分リマシタ、其ノ外ノ條ニアルカナイカ、ナイト仰シヤイマスカ、アルト仰シヤイマスカ、ソレヲ承リタイ、ソレカラ序ニ申シマスガ、私ハ辯舌モ下手デスシ、成ルベク簡單ニ政府ノ御迷惑ニモナラ

ナイヤウニ又委員會ノ進行ヲ妨ゲナイヤウニ極メテ簡單ニ申シテ居ルノデスカラ、今問ヒマスコトモ成ルベク簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイ、例ヘバ只今御述ニナリマシタ此ノ施行要綱ニ列記シテアル事項ノ如キハ是ハ全部所謂委任勅令ノ内容タルベキモノデハナイ、ソレハ執行上必要ナル事項ヲ書イテアルノダト云フヤウナ御説明ガアリマシタガ、ソレハ私能ク理解シテ居リマス、其ノコトヲ伺ツタノデヤナイ、此ノ施行要綱ト云フノハ是ハ皆勅令デ定メ、サウシテ其ノ勅令タルヤ法律ニ所謂委任命令ノ内容ヲナスモノカドウカト云フコトヲ伺ツタノデヤナイ、若シソレヲ伺ツタトスレバ今申シタヤウニ伺ヘバ非常ニ簡單デ御答辯ニ都合ガ好カッタト思ヒマスガ、ソレヲ伺ツタノデヤナイ、要スルニ問ヒ方ガ簡單デアリマスルケレドモ、御理解ニナル程度ニ於テ簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイ、繰返シテ申上ゲマスルガ十五條ガ執行命令デアルト云フコトハ承リマシタソレ以外ニハゴザイマセヌカ

○水野鍊太郎君 關聯シテ、此ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノガ大分問題ニナッテ居ル「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ其ノ勅令ノ中ニハ執行命令モアル、ソレカラ又稱シテ所謂委任命令ト云フモノモ含ンデ居ルト

思ヒマス、ソレデ政府カラ御配付ニナリマシタ國家總動員法案施行要綱ト云フモノヲ見マス、全部デハアリマセヌガ多クハ執行命令ノ範圍ニ屬スルモノガ多イノデアリマス、ソレ故ニサウ云フヤウナモノナラバ必ズシモ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト書カナイデモ、當然憲法ノ九條ノ命令ヲ發シ得ルノデハナイカト云フヤウナ質問ヲ私モシマシタシ、山岡君モサレタノデアリマス、ソレデ今塚本君ノ御問ハソレデハ此ノ總動員法ノ一條カラ五十條ヲ見マス、全部ノ中ニドレガ委任命令デ、ドレガ執行命令デアルカ、其ノ内容ヲ一ツハッキリ答ヘテ貰ヒタイ、サウ云フ御趣旨ニ解シテ居ル、私モサウ思ッテ居ツタ、ソレヲ一ツ區別シテ是ハ執行命令ニ屬スル、是ハ委任命令ニ屬スル、或ハ委任命令ト執行命令ト一緒ニナッテ居ルモノガアルノデス、デスカラハッキリ區別ハ出來ヌカモ知レマセヌケレドモ此ノ何條ヲ、例ヘバ商法ノ例外規定ヲ設ケルト云フ一條ガアル、ソレハ確ニ執行命令デハナイ、委任命令デアアル、サウ云フヤウナハッキリシタモノ、ソレカラ先程例ヲ出サレタ十五條ノ如キハ是ハ明白ニ執行命令デアアル、サウ云フヤウナコトガアリマスカラ是ハ執行命令ニ屬スルモノデアアル、是ハ委任命令ニ屬

スルモノデアアル、サウ云フコトヲハッキリ區別ガ出來マスレバサウ云フコトヲ明示シテ載ケレバ大變ニ能ク分ルノデハナイカト思ヒマス、塚本サンノ御質問モ其ノヤウデアリマス

○塚本清治君 左様デス

○國務大臣(鹽野季彦君) 御質問ノ趣旨ヲ了承致シマシタ、申上ゲマスガ、第十五條、十六條、十七條、二十條、二十一條、二十三條、二十四條、二十九條ノ二項、第五十條、前ニ歸リマシテ、第五條、只今申上ゲマシタ各條ノ命令ハ執行命令ヲ以テ足リルモノト考ヘマス、但シ何レモ本法ノ重要性ニ鑑ミテ勅令ト云フコトヲ指定シタ譯デゴザイマス

○塚本清治君 非常ニ重大ナ問題ト存ジマスカラ私今承ツタ所ヲ筆記シマシタガ、間違ナイカ、是ハ政府委員ノ方デ宜シウゴザイマス、五條、十五條、十六條、二十條、二十一條、二十三條、二十四條、二十九條ノ二項、五十條是ダケノ箇條ニアリマスル「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハ委任命令デナクテ、執行命令ヲ意味シテ居ルノデアアル、斯様ニ心得テ誤アリマセヌカ、箇條ダケヲ……箇條ダケヲ、其ノ他ノコトハ宜シイ

○政府委員(内田源兵衛君) 今箇條ヲ申上ゲマシタガ、此ノ委任命令ト又執行命令トドウ云フ區別ニ依ッテ今丸ヲ附ケマシタカト云フコトヲ申上ゲタイト思フ譯デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ委任命令ト執行命令ト云フモノニ付テハ其ノ範圍ニ付テ必ズシモ私、學說等モ一定シテ居ルノデハナイノデハナイカ、斯ウモ考ヘマス譯デゴザイマスガ、マア大體憲法第九條デ規定シ得ベキ事柄デゴザイマスレバ是ハ本條ニ於テ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト致シマシテ、形式上ハ兎モ角モ委任命令ノ形式ヲ採ッテアル譯デゴザイマス、廣イ意味ニ於キマシテハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト書キマシタ以上ハ委任命令ナルコトヲ考ヘマス、併シ其ノ中デ、其ノ事項ノ中デ憲法第九條ノ執行命令トシテ書キ得ル、ト斯ウ云フ意味デ執行命令ノ性質ヲ持ッテ居ルト斯ウ云フ工合ニ考ヘマスルト云フト、只今申上ゲタヤウニ、略、此ノ第五條以下御示シ致シマシタヤウナ條文ニナル譯デゴザイマスガ、併シ此ノ事ニ付キマシテハ、其ノ勅令ノ内容ト云フモノヲハッキリ決メマセヌト云フト、果シテ今申上ゲマシタヤウナ意味ニ於ケル委任命令デアアルカ、或ハ執行命令デアアルカト云フコトハ、此一ツノ幅ノナイ線ヲ以テ劃スルヤ

ウニ、ハッキリ申上ゲ兼ネル點ガアルト思
フノデゴザイマス、略々大體ハ斯ウナル、斯
ウ云フ意味デ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○塚本清治君 ドウモ大臣竝ニ政府委員ノ

説明ヲ承ッテ頭ニ混亂ヲ來シマス、只今速記
ニモ殘ルコトデアリマセウシ、委員全體ノ
方ガ御聽キニナツタコト思ヒマス、司法大

臣ハ明確ニ簡條ヲ列舉セラレテ、是ガ執行
命令ヲ意味シテ居ル所ノ勅令ノ定ムル所デ

アル、斯様ニ御答辯ニナツタノデアアル、然ル
ニ政府委員ガ出ラレテ、私特ニ斷ツタノデス

ガ、私ノ筆記致シマシタ簡條ダケニ付テ間
違ヒガナイカ、其ノ他ノコトハ承ラナイト

云フコト迄申上ゲタノニ拘ラズ、ナカノ
分リニクイ説明ヲ承ツタ、中ニハ學問上ノ御

説明ノ如クニモ聞エル執行命令トカ、委任
命令トカ云フノハ、學問上ニ於テモ何トカ

異議ガアルヤウニ承リマス、私學問上ノコ
トハ此ノ席デハ承リタクナイノデ、其ノ必

要ヲ私ハ認メナイノデスガ、學問上カラ申
シマシテモ、委任命令ト執行命令ノ區別ナ

シカハソソナニ議論ハアリマセヌ、併シソ
レ等ノコトハ私ハ措キマシテ、司法大臣ノ

述べラレタコトニ誤ガアルノカナイノカ、
ソレヲ先ヅ私ハ確メマシテ後ニ質問ヲ續行

サセテ戴キマス、誤ガアルヤウデハ私判斷

ニ惑フ、司法大臣ガ答ヘテ……、マア政府
委員ノ方ノ御説明デモ結構ナンデアリマス、

結構ナンデスケレドモ、マア謂ハバ大臣ノ
御答辯ダカラ、尙結構ダト思ウタ、ソレ故

ニ、サレバコソ昨日カラ司法大臣ガ水野委
員、山岡委員ノ御質問ニ對シテ御答辯ニナツ

タ、ソレヲ私ハ繰返ス嫌ガアツタノデスケレ
ドモ、併シ事頗ル重大デアアル、頗ル多クノ

人ノ疑惑ヲ招クコト存ジテ、ソレデ簡潔
ニ要旨ヲ得ルヤウニ質問ヲ申上ゲタ、サウ

シタラ幸ニ簡條ヲ列舉シテ下サツタ、ソレ以
上ノ質問ハ其ノ點ニ付テハ先ヅ必要ナイト

思ウタノデスケレドモ、今改メテ伺ヒタイ
コトハ、司法大臣ノ御説明ヲ信ジタイノデ

スガ、ソレヨリ外ナイノデスガ、サウデナ
イト云フトデスネ、大臣ノ御説明ヲ聽イテ

モ又疑ガ起ル、サウシテ政府委員ノ説明ニ
依ルト更ニ要領ヲ得ナイ、執行命令デアアル

ノダケレドモ、何分豫想ガ出來ヌカラ、
或ハ都合ニ依ツタラバ委任命令ノ内容ヲ規

定スルコトガアルカモ知レヌ、斯ウ云フ風
ニ聞エル、苟モ法律ヲ制定スルニ當ツテ、委

任命令トシテ立法事項ヲ命令ニ讓ルト云フ
ナラバコソ、勅令ノ定ムル所ニ依ルトカ、

或ハ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フ委任ヲス
ルノデアアル、何ヲ規定スルカ分ラナイ、執

行命令デ多分宜イノダケレドモ、都合ニ依ッ
タナラバ立法事項ニ互ルコトガアルカモ知

レナイト云フヤウナコトデ、命令ニ委任ス
ル立法ハ未ダ嘗テ聞カナイ、此ノ點ヲ司法

大臣カラ御説明ヲ願ヒタイ、司法大臣ノ御
説明ニ對シテ私疑念ヲ生ジタカラ……

○國務大臣(鹽野季彦君) 只今御讀上ゲニ
ナリマシタ簡條ノ中ニ第十七條ガ落チテ居

タヤウニ聽取レマシタ、ソレデ其ノ點御加
ヘヲ願ヒタイ、私ガ五條以下指摘致シマシタ

簡條ヲ執行致シマスニ付テハ、執行命令デモ
出來ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併

シナガラソレヲ委任命令ノ形ニ依ッテ規定
致シテアルノデアリマス、執行命令デモ出

來ルト云フモノヲ特ニ委任命令ニ依ルト
云フコトノ理由ハ、之ヲ執行致シマスル上

ニ於テ如何様ノ程度ニヤルベキヤガ確定致
シテ居リマセヌ、戰時ノ狀態ニ即應致シテ

行ク必要モゴザイマス、又平時ノ規定ト致
シテアル部分モ、是亦戰時ニ入リマシテカ

ラモ運用サレル條文デゴザイマスルノデ、
戰時ニ變轉致シマスル事情ニ即應致ス必要

カラ、命令ニ書キマスル内容ガ今ヨリ確定
致シテ置クコトガ出來ナイ事情ガアルノデ

アリマス、從ヒマシテ單ニ執行命令トシテ
書キマスルト、運用ノ上ニ差支ヲ生ズル場

合ガアルノデハナイカ、若シ之ヲ委任命令
ニ致シテ置キマスナラバ、他ノ法令ト牴觸

致シマスル場合ニ於テハ此ノ命令ハ本法ノ
内容ニナツテ居リマスルカラ、他ノ法令ニ勝

ルト云フ效果ヲ持ツノデアリマス、左様ナ
點ヲ考ヘマシテ委任命令ノ形ヲ取ツテ居ル

次第デゴザイマス

○塚本清治君 非常ニ困ルノデゴザイマス
ガ、速記ヲ見マシテカラ、確カナコトヲ伺

フ方ガ宜イカト思ヒマス、前ニハ明カニ五
條、十一條、落チテ居リマシタデスガ、十

五、十六條以下多數ノ簡條ニ互ツテ「勅令ノ定
ムル所ニ依ル」トアルノハ、實ハ執行命令ヲ

意味シテ居ルノダ、是ハ無條件ニ絕對ニ言
明サレタ、處ガ政府委員ガ出ラレテ執行命

令ト委任命令ト云フコトデ學說上異論ガア
ルヤウナ風ニ言ハレタ、今度司法大臣ハ又

執行命令デモ宜イケレドモ、都合ニ依ツタラ
又立法事項ニ互ルモノモ規定スルコトニナ

ルカモ知レナイカラ、ソレデ「勅令ノ定ムル
所ニ依ル」ト斯ウナツタト仰シヤツタノデス

ガ、速記ヲ見マセヌカラ分リマセヌケレド
モ、私ハ前後ノ司法大臣ノ御答辯ニ相違ガ

アルト思ヒマス、速記ヲ見テ更ニ御尋ネ致
シマス、ソレカラ尙之ニ關聯致シマシテ矢

張り勅令ニ定ムル所ニ依リト云フ文句ニ付

テノ疑デアリマスガ、是ハ昨日カラ政府委員ノ御答辯ノ中ニ斯ウ云フコトヲ申サレタノガアリマス、執行命令或ハ委任命令デモ勅令デナクテ省令デモ宜イモノモアルノダケレドモ、ソレヲ特ニ勅令デ定メルコトニスル爲ニ勅令ノ定ムル所ニ依リト斯ウ云フ風ニ書イタノデアルト云フ意味ニ於テ勅令ニ定ムル所ニ依リト云フ文句ガ入ッテ居ルノガアル、斯様ニ承ツタ、私は亦解シ難イ、委任命令ヲ勅令ニ及バヌ、省令デ宜シイト云フ時ニ何々大臣ノ定ムル所ニ依ルト書ク例ハ幾ラモアリマス、執行命令ヲ省令デ定メ得ルノヲ法律ガソレハ勅令デナケレバйкаス、斯様ナコトハ立法上例ガナイ、又ソレハ恐ラク命令權ノ謂ハバ干犯ニナルト思ヒマス、或ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ルト、省令以下デ宜シイト云フ時ニ書キマス、或ハ默ツテ命令ノ定ムル所ニ依ルト繰返シテ申シマスガ、法律ガ委任命令ヲ規定スル時ニ、ソレハ省令デ宜シイト云ツタ時ニハ、特ニ内務大臣ノ定ムル所ニ依リトカ書クトモアリマス、サウスルト勅令或ハ省令デ定マリマス、サウスルト、省令デ定メテ宜イ所ヲ法律デ勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトハ書クコトガナイト思ヒマスガ、此ノ點ヲ御説明下サレバ……

○政府委員(青木一男君) 私ノ申上デマシタノハ、省令デ宜イコトヲ態、勅令ニヤツタト云フ意味デ申上ゲタノデハナイノデアリマス、從來ノ例ニ依リマシテ此ノ種ノ法規ニ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フ書キ方ノ例モアリマスガ、此ノ法律ニ付テハ勅令ニ依ルト定ムルノガ適當デアルト考ヘテ政府ハ斯ウ云フ原案ニ致シタ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス

○塚本清治君 施行命令ヲ意味シテ居ルト致シマスルナラバ……法律ニ定ムル所ノ勅令ニ依ルト云フコトガ執行命令ヲ意味シテ居ルト云フコトデアリマスルナラバ、是迄ノ立法例ヲ見マスルト云フト、ズット以前ハ本法施行ノ爲ニ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトヲ書イタケレドモ、モウ幾年カニナリマスガ、ソレハ止メタ、政府ノ立法ノ起案ニ當ツテソレハ止メラレタ、ソレデ今日ノ法律ニハソレハナイ、申ス迄モナク執行命令ハ當然出セル、勅令ナリ其ノ以下ノ命令デ出セルノデスカラ、法律ニ書カヌデ宜シイト云フコトデ近年……近年ト言ッテモ大分久シイガ止メタノデ、今日ノ立法例ニハアリマセヌ、ソレヲ此處ニ書カレタ理由ヲ承リタイ

○國務大臣(鹽野季彦君) 先刻モ申上デマシタガ、只今勅令ノ内容トシテ想像シ得ル事項ハ、施行要綱トシテ掲ゲテ居ルヤウナモノデゴザイマス、是等ノ事項デアリマシナラバ、執行命令ニ依ッテ出來ルコトデアリマス、先程モ申上デマシタヤウニ、之ヲ愈々實施致シマス際、殊ニ戰時ニ於キマシテハ、戰時ノ狀態ニ應ジマスヤウニ致シマス爲ニハ、今ヨリ豫想シ得ザル事態ニ即應シナケレバナルマイ、從ッテ其ノ際ニ勅令ノ内容モ新ラタニ加ハル譯デモアルノデ、ソレデ特ニ委任命令ノ形ヲ採ツタノデアリマス、斯様ナ次第デアリマス

○塚本清治君 簡單ニ……執行命令タル勅令ヲ、法律ニ於テ、勅令ノ定ムル所ニ依ルトカ、或ハ勅令ヲ以テ定ムトカ云フコトヲ、先刻申シマシタヤウニ、近頃ハ立法例デ書カナイ、是ハ一般ニサウナッテ居リマス、政府委員デハドウ云フ風ニ御調ニナッテ居リマスカ承リタイ、法制局ノ方デ宜シウゴザイマス

○政府委員(森山銳一君) 只今塚本委員御指摘ノ通り、法律ノ内ニ、本法施行ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ定ムトカ、或ハ勅令ヲ以テ定ムトカ云フ風ナ規定ヲ置カナイコトハ最近ノ立法例デアリマス、御指摘ノ通りデアルノデアリマス、併シナガラ各法律ノ

内ノ條文ヲ書キマス際ニ、是ハ執行命令デ書ケルノダト思ハレルヤウナモノモ、色々ナコトヲ考ヘマシテ、勅令ノ定ムル所ニ依ルトカ、或ハ命令ノ定ムル所ニ依ルトカ云フコトヲ書キマシテ居ル例ハ、最近ノ立法例ニ相當アルノデアリマス、即チ一般的ニ廣ク法律ノ一番最後ノ條文等ニ持ッテ行キマシテ、本法施行ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ定ムトカ云フヤウナ立法例ハシテナイノデアリマスガ、各本條ニ付テ、其ノ執行ニ關スル命令ハ勅令デ定ムトカ、或ハ命令デ定ムトカ云フコトヲ明カニスル意味ニ於テ、執行命令タルモノヲ勅令ノ定ムル所ニ依リトカ、命令ノ定ムル所ニ依ルトカト云フ風ニ書クコトハ相當例ガアルノデアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 塚本君ハ此際……ソレデハ休憩ヲ致シマス、午後ハ一時半カラ開會致シマス
午後零時六分休憩
午後一時四十四分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 午後ノ會議ヲ開キマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 休憩前ニ於キマシテ私カラ條文ヲ讀ミ上ゲマシタ際、讀ミ違ヘタ分ガゴザリマスルカラ之ヲ訂正致シマス、第二十九條ノ第二項、ソレカラ第五

十條、是ハ官制ノ分デゴザイマスルカラ御除キヲ願ヒマス、尙其ノ他讀ミ上ゲマシタ各箇條ハ先刻モ御斷リヲ致シマシタヤウニ御參考トシテ御配付致シテアリマスル施行要綱ニ記載シテアル事項ニ付テ考ヘテ見レバ、本法ノ内デ是ダケノ箇條ガ執行命令デモ出來ルト云フ御話ヲ申上ゲタノデアリマシテ、尙施行要綱ハ之ヲ以テ全部ナリト致シテ居ルノデハゴザイマセヌ、重ネテ申上ゲマスガ、戰時ノ事態ノ變遷ニ即應致シマシテ、種々ナル必要ガ發生スルト云フコトヲ豫想致シマスルカラ自然立法事項ヲモ勅令ノ中ニ規定致サナケレバナラスコトニナリマスノデ、矢張り委任命令ヲ以テ必要ト致スノデアリマス、殊ニ勅令ヲ指定致シマシテ、勅令デ之ヲ規定致シタイト考ヘルノデアリマス、尙手續ノ規定即チ執行命令デモ出來得ルモノニ付キマシテモ、或ハ土地家屋其ノ他物資ノ所有者以外ノ、第三者トノ關係ヲモ考慮致スヤウナ場合モ自然生ズルデアリマセウカラ、左様ナ場合ニハ矢張り立法事項ヲモ想像シ得ルノデアリマス、又一面ニ於キマシテハ執行手續ヲ規定致シマシテモ、ソレガ既存ノ法律ト牴觸スルヤウナ場合ニ於キマシテハ、矢張り委任命令ノ形ヲ取ッテ置キマスルト、本法ノ内容ト致

シマシテ委任命令ノ規定致シマシタ所ハ、既存ノ法律ヨリ優先シテ行ハレルト云フ場合モアリマスノデ、斯様ナ非常ノ事態ニ處シマスル法律ト致シマシテハ、矢張り本案ノ如ク委任命令、而モ勅令ニ依ル委任命令トシテ置クコトヲ相當ト考ヘテ居リマス次第デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 此ノ際黑崎君ノ御發言ヲ願ヒマス

○黑崎定三君 私午前ニ塚本委員ト司法大臣ノ質疑應答ニ關聯致シマシテ、少シ自分デ迷ッテ來タト云フヤウナ感じヲ懷イタノデアリマシテ、其ノ點極ク簡單ナ事柄デゴザイマスルガ一應政府ノ方ノ御考ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、委任立法ノ憲法上ノ議論ヲ申上ゲル積リデハ固ヨリゴザリマセヌ、山岡委員モ先回來申上ゲラレマシタ如ク、本法案ノ中ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ規定ノ書イテアリマスル箇所ガ相當アルノデアリマスルガ、其ノ中ニハ相當多クノ箇條ニ互リマシテ、特ニ委任立法ノ規定ヲ置ク必要ノナイコトカト考ヘラレルモノガアルノデアリマス、先キ程司法大臣ノ御舉ゲニナリマシタ箇條ノ中ニモ、確ニ委任立法デ委任スルノ必要ノナイコトデアラウト考ヘラレル節モアルノデアリマ

シテ、唯從來ノ法令、法律デ斯ウ云フ言葉ヲ使ヒマシタ法律ハ相當アルノデアリマシテ、先キ程塚本委員ノ實例ハドウカト云フ御質問モアツカヤウデアリマス、此ノ今度ノ法案ニモ非常ニ澤山ノ、今ノ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フ文句ガ挿入シテアリマスルノハ、ツイサウ云フ、或法律ニ使ハレテ居リマシタ例ガアルノデアリマシテ、遂々ソレニ引摺ラレテ申スト甚ダ恐縮デアリマスガ、サウ云ツカヤウナ御心持ヲオ書キニナツカヤウナ場所ガアルノデハナカラウカト思フノデアリマス、私ノ理解シテ居リマスル所ニ依リマス、法律ニ特ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ言葉ヲ入レマスル時ハ、是ハ委任ノ必要ガアルカラ、特ニ書クノデアリマシテ、其ノ必要ノナイ時ハ寧ろ書カナイ、法律執行ノ爲ニ勅令ナラバ憲法九條ノ規定ニ依ッテ立派ニ出來ルコトデアリマス、特ニ此ノ文句ヲ挿入致シマスル必要ノ一ツノ場合ハ申シタヤウニ委任ノ必要ノアルコト他ノ一ツノ必要ノ場合ヲ想像シテ見マスルト、執行命令、施行勅令、ソレカラソレ以下ニ於キマシテ、確カ各省官制通則ニ基礎ヲ置イテ居ルモノト思考致シマスガ、各省大臣、內閣總理大臣ハ各、其ノ所管ノ事務ニ關シマシテ內閣ナレバ閣令、各省大臣

ナラバ省令、外地ノ長官デアリマスレバソレノ官制ニ依リマシテ、其ノ職權ニ屬スル範圍内ニ於テ命令ヲ出シ得ル根據ガ、規定ガ存在致シテ居リマス、デ是等ノ根據カラ省令、閣令等ヲ出シ得ル場合ニ、出シ得ルニモ拘ラズ、特ニ法律ハ此ノ事項ニ關シテハ勅令デアラネバナラスト云フ、斯ウ云フ限定ヲスル必要ガアル場合、此ノ二ツノ事由ガ特ニ斯ク法律中ニ斯カル文言ヲ挿入致シマスル場合カト考ヘルノデアリマス、ソコデ此ノ本案ノ處々、多數ニ互リマシテ斯カル文言ガ入ッテ居リマスケレドモ、實ハ此ノ二ツノ、只今私ノ申シマシタ二ツノ必要事項以外ノ事柄ヲモ考慮ニ入レテ書イテアルカノ如キ疑ヲ生ゼシムルノデアリマス、其ノ疑ガ即チ委任立法ガ非常ニ廣範圍ニ於テ委任サレテ居ルノダト斯ウ云フ風ニ今度ハ何トナクドンナコトヲ勅令デ規定サレルノダラウト云フ心配ガ生ジテ來ルデアラウト思ヒマス、從來ノ實例ニ徴シマスルト、手近ナ所ニ其ノ例ヲ求メマスルト、頂戴致シマシタ、參考書類ノ中ニ軍需工業動員法ノ中ノ施行ハ一部ヲ今回ノ事件ニモ適用スルト云フ法律ガ昭和十二年ニ通りマシテ、其ノ結果昭和十二年ニ、昨年政府ハ勅令ヲ出シテ居ラッシャイマス、其ノ勅令

ニハ軍需工業動員法第二條ノ規定ニ依ッテ
云々スル場合ニハ本令ニ依ルト云フヤウナ
趣旨ノ勅令ヲ御出シニナッテ居ルト思ヒマ
ス、處ガ軍需工業動員法ノ第二條ニハ其ノ
文言ノ隅カラ隅迄讀ミマシテモ、勅令ノ定
ムル所ニ依リト云フ言葉ハ何處ニモナイノ
デアリマス、而モ施行勅令ガ出サレテ居ル
ノデアリマス、是ハ斯カル文言ガ法律ニナ
クテモ、施行勅令ハ當然出シ得ルモノデア
ルト云フ御解釋ノ下ニ御發布ニナツタコト
カト私ハ想像致シテ居ルノデアリマス、ソ
レカラモウ一ツノ例ハ矢張り國家總動員事
項ノ一部ニ入ルモノカト考ヘラレマス、臨時
資金調整法ガゴザリマス、アノ臨時資金調整
法ノ第十六條ノ規定ヲ御覽ニナリマスルト、
是ハ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フ言葉ガ入ッ
テ居リマス、是ハ確カ検査ノ規定ダト思ヒ
マス、臨時資金調整法第十六條ノ規定ハ檢
査スルコトガ出來ルト云フ趣旨ノ規定ニ勅
令ノ定ムル所ニ依リト云フ言葉ガ入ッテ居
リマス、處ガ同資金調整法施行令ヲ見マスル
ト、十六條ノ法律ノ規定デ拜見致シマスル
ト、勅令ノ定ムル所ニ依リト書イデアリマ
スルカラ、何カ立法事項ニ關スル規定ガ設
ケラレテ居ルカト思ヒマスルト、是亦戴キ
マシタ此ノ刷物ニ依リマスルト、臨時資金

調整法ノ施行令第十條ノ規定ヲ見マスルト
勅令ノ此ノ第十六條ノ規定ニ依ッテト云フ
言葉ガ書イデアリマス、中身ヲ見マスルト
検査ニ行ク役人ハ検査票ヲ携帯スベシト云
フコトガ書イデアアルダケデアリマス、是ハ
斯ウ云フ検査票ヲ何カ自分ノ身分證明書ヲ
持ッテ行カナケレバナラスト云フコトハ、法
律ニ根據ヲ置カナケレバ書ケナイ事柄トハ
考ヘラレマセヌ、是ハ恐ラク何カアリハシ
ナイカ、法律ヲ作リマス時ニ、甚ダ言葉ハ
惡フゴザイマスガ、暗中模索デ何カアリハ
シナイカ、何モナイトハ思フケレドモ、何
カアリハシナイカト云フコトカラ、之ヲヨ
ク申シマスト若シ立法事項ニ引ツ掛ルヤウ
ナコトガアレバ大變デアル、即チ立法事項ハ
憲法ノ條章ニ忠實ニ從ハネバナラスト云フ、
非常ニ要心深イ心構ヘカラ法律ニ書イテ居
ル、所ガイザ勅令ヲ出シマス時ニハ、ドウ
モサウ云フ必要ハナカッタ、併シナガラ法
律ノ書キ方カラ見マスルト何カ勅令ガ出ナ
ケレバ、勅令ヲ出サナケレバ此ノ法律ノ條
項ハ實際ニ運行スルコトノ出來ナイ、斯ウ
云フ風ナ窮窟ナ解釋ヲシナケレバナラヌヤ
ウニ見エマス、ソコデ勅令ヲ拵ヘマス、拵
ヘマスガ書クコトハゴザイマセヌ、ソコデ
何カ書カネバナラヌカラ、マサカ法律ノ言

葉ト同ジコトヲ書キマスルノハ是ハ如何ニ
モ幼稚デアリマスルカラ、只今例ニ舉ゲマ
シタ資金調整法ノ施行令ノ第十條ノ如キ規
定ヲ是亦勅令ニ書イテ、サウシテ恰モ此ノ十
六條ノ委任ト言ヒマスガ、十六條ノ規定ノ
文言ニ照應セシムルヤウナコトニシナケレ
バナラスト云フ却テ餘計ナ苦勞ガ入ルンデ
ヤナイカト思フノデアリマス、更ニモウ一
ツアリマスケレドモ、是ハ……モウ一ツ私
ノ記憶ニハゴザイマスルガ、是ハ具體的ニ申
上ゲルコトハ差控ヘマス、デ只今例ニ舉ゲ
マシタノハ、私ノ考デハ、私ノ考カラ例ニ
舉ゲタノデアリマスカラ、若シ私ノ考ヘ方
ガ間違ッテ居ルト云フコトデアレバ是ハ御
教示ヲ願フノデアリマス、詰リ斯ウ云ッタ
ヤウナ考ヘ方カラ、斯ウ云ッタヤウナ心持カ
ラ、餘リ澤山ノ條項ニ勅令ノ定ムル所ニ依
リト云フ言葉ヲ御入レニナツタカラ、ソレデ
ソレガ非常ナ心配ノ種ニナツタカ、ソレデ
ナカラウカト思フノデアリマス、唯私ノ恐レ
マスノハ、サウ云フ心配カラ法律中ニ斯ウ
云フ文言ヲ入レテ置キマス、折角祕密ニ
早ク實施ヲシヤウ、斯ウ云フ御趣旨ガ何カ
勅令ヲ出サナケレバ此ノ法律ノ規定ハ實施
出來ナイ、餘計ナ勅令ヲ兎ニ角出サナケレ
バ、餘計ト云フ言葉ハ甚ダ不穩當カモ知レ

マセヌガ、兎ニ角手數ヲ餘計カケルヤウナ
勅令ヲ出サナケレバ出來ナイ、斯ウ云フコ
トニナッテ却テ不便ナコトニモナルノデハ
ナカラウカト思フノデアリマス、サウ云フ
コトハナイノデアリマセウカ、先程ノ質疑
應答ノ關係カラ私ハ其ノ點ニ付テ疑問ヲ生
ジテ參ッタノデアリマスカラ、政府ノ是等ノ
點ニ付テノ御考ヲ伺ヒマスルコトガ出來マ
スレバ甚ダ幸ヒデゴザイマス
○國務大臣(鹽野季彦君) 法律ヲ施行致シ
マスルニ付テ法律其ノモノニ本法ノ施行ニ
付テハ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フ規定ヲ
置イタ時代モアリマスルガ、近頃ハ左様サ
規定ガナクテモ憲法第九條前段ノ執行命令
ニ依リマシテ法律ガ施行サレルコトハ誠ニ
御説ノ通りデゴザイマス、特ニ本問ニ於キ
マシテ勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フ字句ヲ
設ケテアリマスルノハ立法事項ヲ命令ニ委
任ヲスルト云フ必要ヲ感ジマスルカラ此ノ
規定ヲ置イタモノデゴザイマシテ、元來本
法案ハ軍需工業動員法ヲ擴張致シタモノデ
ゴザイマスルガ、其ノ趣旨ハ所謂近代戰
ニ於キマシテハ國力ノ全部ヲ最モ有效
ニ、最高調ニ之ヲ使用スル、所謂國力
戰ヲ爲スト云フ必要カラ單ニ軍需工業動
員法ニ於ケルガ如ク軍需品バカリノ動員

ヲ考ヘテ居ルンデハ不足デアリマスルカラ
國內ニ於ケル總テノ勞力、總テノ物資ノ
動員ヲ考ヘマシテ、臨時ニ必要ナル部分
ニ付テノ動員モ考慮ニ入レマシテ、從ッテ
軍需工業動員法以外ニ古クハ徵發令、又新
シイ所デハ昨年立法ニナリマシタ所ノ臨時
資金調整法、臨時肥料配給法、輸出入品臨
時措置法其ノ他數件ノ法律ノ主要ナル事項
ヲ總括綜合致シマシテ、サウシテ極メテ其
ノ實質ダケヲ採リマシテ之ヲ簡潔ナル條文
ニ直シタノデゴザイマス、從ッテ之ヲ實際ニ
運用致シマスル上ニ於テハ可ナリ人民ノ自
由、財産ニ影響ノアル規定ヲ設クル必要ガ
アラウト考ヘルノデアリマス、ト申シマス
ルノハ只今施行要綱トシテ書キ列ベマシタ
程度ニ於キマシテハ仰セノ如ク執行命令ニ
依ッテ足リルヤウナモノデゴザイマスケレド
モ、再三申上ゲル如ク戰時ニ於キマシテハ
事態ガ千變萬化致シマスル爲ニ之ニ對應致
シマシテ適宜ノ處置ヲ執ル、其ノ上ニハ臣
民ノ自由ニ直接關係スル規定ヲ設クル場合
モ起ル、具體的ニ然ラバ何カト云フコトガ
唯申上ゲラレナイ程度デアリマシテ、ソレ
等ノ場合ヲ豫想致シマシテ御説ノヤウニ漏
レナク法規ヲ拵ヘルト云フ極メテ用意周到
ナル意味合ヲ持ッテ居リマスノデ、單ニ御參

考ニ供シマシタ施行要綱ニ止マルトハ政府
ハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、矢張御
説ノ通りニ立法事項ヲモ、將來ハ委任命令
ニ依ッテ立法事項ニ關係スルコトモ規定ス
ルト云フコトヲ豫想致シテ居ルヤウナ次第
デゴザイマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) 黑崎君ハモウ
御質問ハアリマセヌカ……

○山川端夫君 只今ノ質問ニ關聯シテチョッ
ト疑フ晴ラシテ置キタイト思ヒマス、昨日カ
ラノ質問應答ヲ見マスルト、政府ハ此ノ
法律ノ範圍内デ勅令ヲ規定スルノダ、勅令
ノ規定ハ法律ノ範圍ヲ一歩モ出デナイト云
フコトヲ強ク御話ニナッテ居ッタ、處ガ今司
法大臣ノ御話ヲ承リマス、執行命令ト云
フコトデハアルガ、將來時局ノ千變萬化ニ
應ジテ委任立法モセネバナラナイノデア
ルカモ知レナイカラ、ソレデ勅令ト云フコト
ニシテ居ルノダト云フヤウナ御話ニナリマ
スト、ソコニ非常ナ疑ガ出來テ來ルノデア
リマス、ソレガ第五條ニ付テ申シマシテ、茲
ニ舉ゲテアル勅令ハ執行命令ト云フ御話デ
ゴザイマス、執行命令デ此ノ第五條ハ動ク
ト云フコトデ之ヲ執行命令トサレテ居ル、
此ノ場合デアリマスカ或ハ他ノ執行命令ノ
場合デアリマスカ存ジマセヌガ、執行命令

デ動クト思ハレタ條項ニ付キマシテ、更ニ
立法事項マデモ、ソコデ考ヘネバナラス、
將來時局ノ變遷ニ依テハ、推移ニ依テハ立
法事項ノコト迄考ヘネバナラスト云フコト
ニナリマス、先日來ノ政府ノ御聲明デ、
此ノ法律ノ規定カラ一歩モ擴ゲナイト云フ
御趣旨トハ自然喰ヒ違フヤウナ疑ヲ生ズル
ノデアリマス、ソレデドウ云フ御趣意デア
リマス、其ノ點ヲモウ少シハッキリ分ルヤ
ウニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○國務大臣(鹽野季彦君) 御尤ノ御質問デ
ゴザイマスルガ、千變萬化等ト云フ言葉ヲ
使ヒマシタ爲、非常ニ曖昧ナコトニナリマ
スルガ、勿論委任命令ノ内容ハ、本法ニ規
定致シテアリマスル義務ノ範圍内ニアルノ
デアリマシテ、ソレヲ超ユルコトハナイノ
デアリマス、唯戰時ニ於ケル大勢ガ變化致
シマスル爲ニ、今ヨリ豫定スルコトノ出來
ナイコトガ遺憾デアリマシテ、其ノ意味合
ニ於テ千變萬化等ト云フ言葉ヲ使ッタノデ
ゴザイマス、尙第五條ノ如キハ只今施行要
綱トシテ掲ゲテアリマスル一カラ三ノヤウ
ナコトデアリマスレバ、執行命令デモ出來
ルノデアリマスルガ、併シナガラ之ヲ協力
セシムルコトヲ強行スルト云フ方面ニナリ
マスルト云フト、矢張り立法事項ニ關係スル

コトニナラウト考ヘマス、施行要綱デハ其
ノ事務ニ重大ナル支障ヲ及サザル限り爲サ
シムルト云フヤウニ寛大ナルコトデアリマ
スルカラ差支アリマセヌガ、之ヲ強行スル
ト云フ風ニ規定致シマスルト、矢張り立法
事項ニナラウカト考ヘテ居リマス
○山川端夫君 折角御答ヲ得マシタガ、ド
ウモ私ニハマダ尙一層了解ガ出來ナクナッ
タヤウニ思ヒマス、今ノ例ニ御引キナリ
マシタ第五條ニ於キマシテモ、本法ニハ帝
國臣民其ノ他ノ者ヲシテ以上ノ結果ニ協力
セシムルト云フコトニナッテ居リマス、ソレ
ヲ執行命令デ、此ノ施行要綱ニ書イテアル
コトヲ見マスレバ、ソレハ幾ラカ制限シテ
之ヲ實行サル、ト云フコトデアリマスガ、
ソレ以上ニ、本法ノ規定以上ニ或特殊ノ義
務ヲ命ズルト云フコトデハナイ、從ッテ是ハ
執行命令デ差支ナイ、斯ウ云フヤウナ御趣
意ト初ハ了解致シテ居ッタノデアリマス、ソ
レガ若シ執行命令デ差支ナイト言ハレル條
項ニ付キマシテ、更ニ立法事項迄モ規定ス
ルコトガアルト云フコトニナリマスレバ、
ソコニ非常ナ疑ガ出來ルノデアリマス、是
ハ此ノ法律ノ規定以上ナコトヲ爲サルト云
フヤウナ疑ヲ我々ハ生ズルノデアリマス、
ソコヲハッキリ御示ヲ願ヒタイ

ヲ考ヘテ居ルンデハ不足デアリマスルカラ
國內ニ於ケル總テノ勞力、總テノ物資ノ
動員ヲ考ヘマシテ、臨時ニ必要ナル部分
ニ付テノ動員モ考慮ニ入レマシテ、從ッテ
軍需工業動員法以外ニ古クハ徵發令、又新
シイ所デハ昨年立法ニナリマシタ所ノ臨時
資金調整法、臨時肥料配給法、輸出入品臨
時措置法其ノ他數件ノ法律ノ主要ナル事項
ヲ總括綜合致シマシテ、サウシテ極メテ其
ノ實質ダケヲ採リマシテ之ヲ簡潔ナル條文
ニ直シタノデゴザイマス、從ッテ之ヲ實際ニ
運用致シマスル上ニ於テハ可ナリ人民ノ自
由、財産ニ影響ノアル規定ヲ設クル必要ガ
アラウト考ヘルノデアリマス、ト申シマス
ルノハ只今施行要綱トシテ書キ列ベマシタ
程度ニ於キマシテハ仰セノ如ク執行命令ニ
依ッテ足リルヤウナモノデゴザイマスケレド
モ、再三申上ゲル如ク戰時ニ於キマシテハ
事態ガ千變萬化致シマスル爲ニ之ニ對應致
シマシテ適宜ノ處置ヲ執ル、其ノ上ニハ臣
民ノ自由ニ直接關係スル規定ヲ設クル場合
モ起ル、具體的ニ然ラバ何カト云フコトガ
唯申上ゲラレナイ程度デアリマシテ、ソレ
等ノ場合ヲ豫想致シマシテ御説ノヤウニ漏
レナク法規ヲ拵ヘルト云フ極メテ用意周到
ナル意味合ヲ持ッテ居リマスノデ、單ニ御參

考ニ供シマシタ施行要綱ニ止マルトハ政府
ハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、矢張御
説ノ通りニ立法事項ヲモ、將來ハ委任命令
ニ依ッテ立法事項ニ關係スルコトモ規定ス
ルト云フコトヲ豫想致シテ居ルヤウナ次第
デゴザイマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) 黑崎君ハモウ
御質問ハアリマセヌカ……

○國務大臣(鹽野季彦君) 御尤ノ御質問デ
ゴザイマスルガ、千變萬化等ト云フ言葉ヲ
使ヒマシタ爲、非常ニ曖昧ナコトニナリマ
スルガ、勿論委任命令ノ内容ハ、本法ニ規
定致シテアリマスル義務ノ範圍内ニアルノ
デアリマシテ、ソレヲ超ユルコトハナイノ
デアリマス、唯戰時ニ於ケル大勢ガ變化致
シマスル爲ニ、今ヨリ豫定スルコトノ出來
ナイコトガ遺憾デアリマシテ、其ノ意味合
ニ於テ千變萬化等ト云フ言葉ヲ使ッタノデ
ゴザイマス、尙第五條ノ如キハ只今施行要
綱トシテ掲ゲテアリマスル一カラ三ノヤウ
ナコトデアリマスレバ、執行命令デモ出來
ルノデアリマスルガ、併シナガラ之ヲ協力
セシムルコトヲ強行スルト云フ方面ニナリ
マスルト云フト、矢張り立法事項ニ關係スル

コトニナラウト考ヘマス、施行要綱デハ其
ノ事務ニ重大ナル支障ヲ及サザル限り爲サ
シムルト云フヤウニ寛大ナルコトデアリマ
スルカラ差支アリマセヌガ、之ヲ強行スル
ト云フ風ニ規定致シマスルト、矢張り立法
事項ニナラウカト考ヘテ居リマス
○山川端夫君 折角御答ヲ得マシタガ、ド
ウモ私ニハマダ尙一層了解ガ出來ナクナッ
タヤウニ思ヒマス、今ノ例ニ御引キナリ
マシタ第五條ニ於キマシテモ、本法ニハ帝
國臣民其ノ他ノ者ヲシテ以上ノ結果ニ協力
セシムルト云フコトニナッテ居リマス、ソレ
ヲ執行命令デ、此ノ施行要綱ニ書イテアル
コトヲ見マスレバ、ソレハ幾ラカ制限シテ
之ヲ實行サル、ト云フコトデアリマスガ、
ソレ以上ニ、本法ノ規定以上ニ或特殊ノ義
務ヲ命ズルト云フコトデハナイ、從ッテ是ハ
執行命令デ差支ナイ、斯ウ云フヤウナ御趣
意ト初ハ了解致シテ居ッタノデアリマス、ソ
レガ若シ執行命令デ差支ナイト言ハレル條
項ニ付キマシテ、更ニ立法事項迄モ規定ス
ルコトガアルト云フコトニナリマスレバ、
ソコニ非常ナ疑ガ出來ルノデアリマス、是
ハ此ノ法律ノ規定以上ナコトヲ爲サルト云
フヤウナ疑ヲ我々ハ生ズルノデアリマス、
ソコヲハッキリ御示ヲ願ヒタイ

○國務大臣(鹽野季彦君) 此ノ施行要綱ト

シテ記載シテアリマスル條項ニ依リマシテ、
本法ヲ施行シテ參リマスニハ、執行ノ命令
デモ出來ルガ、併シナガラ是等ノ施行要綱
以外ニ、尙進シテ本文ニアリマスル臣民ノ義
務ヲ要求シテ參リマス場合ニハ立法事項ニ
ナルト考ヘルノデアリマシテ、併シ其ノ義
務ヲ要求スル程度ハ、各本文ニ於テ記載シ
テアル程度ニ止ルノデアリマス、ソレ以上
ニ出ルコトハナイノデアリマス

○山川端夫君 此ノ上押問答シテモ無益デ
アリマス、或ハ見方ノ相違カトモ存ジマス
ガ、第五條ノ本文ニ規定シテ居ル範圍内ノ
コトヲ實行スル爲ニハ執行命令デ差支ヘナ
イト云フヤウナ趣意デ此ノ勅令ハ執行命令
デアルト云フ御説明デアリマスガ、此ノ執
行命令ハドシナ場合デモ本文ニ掲ゲテアル
事柄以上ニハ出ナイモノト思ヒマスルガ、
是ガ立法事項モ或ハ規定スルカモ知レナ
イ、ト云フコトニナリマスレバ本文ノ規定
以上ノ義務ヲ其ノ委任勅令デ御書キニナル
ノデヤナイカト云フ疑ヲ生ズルノデス、ソ
コハ私ノドウシテモ了解ガ出來ナイ點デア
リマス、併シ是ハ今迄ノ質問應答デ同ジコ
トヲ繰返スコトニナリマスレバ意見ノ相違
ト云フコトニナル譯デアリマス、私ハドウ

シテモ御趣意ヲ了解スルコトガ出來ナイト
云フコトヲハッキリ申上ゲテ、此ノ質問ヲ打
切りマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 本文ノ義務以上
ニ出デナイト云フ點ニ付キマシテハ御意見
通りデアリマス、唯私ノ説明ガ下手デアリ
マスル爲ニ、稍、具體的ノ説明ニナリマスル
ト、御分リニクイコトト存ジマスルガ、趣
意ニ於キマシテハ御了解ニナツタコトト存
ジマス

○伊澤多喜男君 私モ段々分ラナクナリマ
シタカラ伺ヒマスガ、昨日來ノ質疑應答ニ
依ツテ、何ガ大體主ナル疑ノ點デアルカト云
フト、兎ニ角此ノ「勅令ノ定ムル所ニ依ル」
ト云フコトハ委任命令デアルカ、我々共大
體委任命令ト思ッテ居ルノデアリマスルガ、
委任命令デアルカ、執行命令デアルカ、或
ル人ハ、大部分ハ執行命令デアルカラシテ、
アナタ方御心配要リマセヌヨト、斯ウ云フ
ヤウナ御説ヲ述べタ御方ガアルガ、ソレデ
段々ニ問題ガ紛糾シテ來マシテ、遂ニ塚本
委員ノ質問ニナツタノデアリマスガ、ソコデ
一體執行命令ト云フノハ、何ト何ガサウデ
アルカト云フコトヲ伺タ處ガ、今ノ第五
條、其ノ外十箇條程ノモノガ是ハ執行命令
ダ、斯ウ云フ御答ヲ司法大臣ヨリナスッテ居

リマス、サウカ、ソレナラバソシナニ澤山
ノモノガ執行命令ダ、委任命令デヤナイノ
ダト云フヤウニ安心シタ人ガアツタカモ知
レナイ、處ガ今段々ニ伺フト云フト、ソレ
ハ執行命令デアルケレドモ、場合ニ依ツテハ
委任命令ニナルノダ、斯ウ云フ御答ナンデ
ゴザイマス、一體下チラナンデスカ、先刻
御舉ゲニナツタ何箇條デアリマシタカ、十箇
條デアリマスカ、其ノ十箇條ハ、アレハ執
行命令デアアルノデアリマスカ、我々共ハ之
ヲ協賛スル時ニ、一體ハ委任命令ダカ、
執行命令ダカ判ラナイノニ協賛スルコトハ
出來ナイノデアリマスカラ、ソレヲハッキリ
伺ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 午前中ノ私ノ説
明ニ言葉ガ足りナイ點ガアツタカモ存ジマ
セヌガ、先刻モ申上ゲタ通り、午前中讀ミ
上ゲマシタ十箇條デアリマスカ、ソレハ委
任命令デアアルカト云フコトノ御尋ニナリマ
ス、ソレハ必ズシモサウデハナイノデアリ
マシテ、其ノ意味合ハ、此ノ施行要綱トシ
テ書キ上ゲデアリマスルダケノ事項ダケデ
アリマスカラバ、執行命令デ出來ルノデア
ルト云フ意味合デ、ソレ等ノ條文ハ執行命
令デ足りルノデアルト云フ意味合デハゴザ
イマセヌノデ、此處ニ書イデアアルモノダケ

デハ、執行命令デモ宜シイガ、其ノ以外ニ
於テ、立法事項ニ互ルモノ、生ズルコトア
ルヲ豫想致シマシテ、ソレニ對スル對策ト
シテ、用心深ク委任命令デ出來ルト云フ法
律ノ建前ニ致シテアルノガ本案デアリマス、
ソレハ戰時ニ於キマスル色々ノ情況ト云フ
コトヲ申上ゲルノデアリマシテ、サウシテ
委任命令ノ内ニ、執行命令デモ出來ル事項
ヲ規定致シマスルト云フコトハ、是ハモウ
多數ノ立法ニ普通見受ケル所デアリマス、
一向差支ナイコトト考ヘテ居リマス

○伊澤多喜男君 サウスルト云フト、極ク
簡單ニ伺ヒマスガ、先刻御舉ゲニナツタ十箇
條ハデスネ、アレハ委任命令ニナリ得ル場
合ガアル、例外ナシニ委任命令ニナリ得ル
ノダト、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデ
スカ

○國務大臣(鹽野季彦君) 度々申上ゲマス
ガ、施行要綱ニ書イデアアル程度デアレバ、
執行命令デモ出來ル、併シナガラ本法立案
ノ趣旨ハソレデハ足りナイト考ヘテ居ル次
第デアリマス

○伊澤多喜男君 只今私が聴キマシタ通り
ニ了解シテ此ノ質問ヲ終リマス

○黑崎定三君 今ノコトデチョット私疑ガ
出デ參リマシタガ若シ本法ノ各箇條ニ規定

シテアリマス「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトハ、委任ノコトモ入ルシ、所謂委任勅令デモアリ得ルシ、又執行命令ノコトモ含マレテ居ル、斯ウ云フ意味ニ解釋致シマスナラバ、罰則規定デ以テ、本法ハ其ノコトノ重大性ニ鑑ミマシテ、相當大キナ刑罰ガ盛ラレテアリマス、是ハ然ルベキコトカト考ヘマスガ、執行命令違反デモ、矢張り此ノ刑罰ノ制裁ガアリ得ル、斯ウ云フ解釋ニナッテ參ルト思ヒマス、委任命令ナラバ、是ハ立法事項デアル、法律デ規定スベキコトデアルノヲ、勅令ニ委ネタモノダ、ダカラ法律違反、法律ノ直接ノ規定ノ違反ト云フ風ニシテ刑罰ノ盛リ方ヲ考ヘル、斯ウ云フ風ニ考ヘラル、ノデアリマスガ、今ノ執行命令迄トナリマス、執行命令違反デモ、其ノ書キ方如何ニ依リマシテハ、本法違反ト同ジ刑罰ノ制裁ヲ受ケル、斯ウ云フ趣旨ニ響キマスガ、其ノ點ハ如何ニ御考ニナルノデアリマセウカ……モウ一度申上ゲマス、先程私ガ例ニ出シマシタ資金調整法及ビ其ノ施行令トノ類例ヲ本法中ニ求メマスナラバ、本法第二十一條デアリマシテ、此ノ二十一條ニハ、或ハ只今迄ノ御話ノヤウニ、何カ立法事項ニ付テ、勅令デ規定スルコトアリ得ルカモ知レナイ、斯ウ云フコトハ其ノ通

リ拜承致スト致シマシテ、此ノ二十一條ノ條文ノ最後ニ、「帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得」ト書イテアリマス、此ノ検査スルコトヲ得ト云フノニハ、一番最初ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」是ガカ、ッテ參ルノデアリマスカラ、此ノ勅令ガ出マセスケレバ検査ハ出來ナイト云フ結果ニナリマス、ソコデ其ノ勅令ヲ出スノニ、是ハ私ノ想像デアリマスガ、若シ資金調整法第十六條ニ對スル同施行令第十條ノ如キ規定ガ設ケラレタト致シマスレバ、違フカモ知レマセヌガ……検査官吏ハ、検査スル時ニハ身分證明書ヲ持ッテ行ケ、斯ウ云フコトニナリマス、處ガソレニ違反シテ持ッテ行カナカッタナラバ何ニナルカト言ヒマス、本法ニ於テ、二十一條ニ基イテ「規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキ」ト云フコトニ相成ルノデアリマス、サウ云フ風ニ考ヘマシテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(青木一男君) 今御示ノ二十一條ノ申告、検査ニ關スル罰則ハ第四十三條ニアルノデアリマシテ、第二十一條ノ規定ニ違反シテ申告ヲ怠リ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ガ若シクハ忌避シタルモノ、斯ウ云フ風ニナッテ居リマスノデ、罰則ノ對象タル違反行為ハ二十一條カラ直チニ來テ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○塚本清治君 關聯シテ短刀直入ニ伺ヒマスガ、午前以來御列舉ニナッタ五條以下十箇條執行命令ヲ豫想シテ居ルノデアルケレドモ、場合ニ依ツタナラバ、立法事項ニ互ルコトモアルカモ知レナイカラ、勅令ノ定ムル所ニ依リ斯ウアルンダト仰シヤイマスガ、其ノ立法事項ニ互ル委任勅令ヲ出スカモ知レヌト云フコトデ、五條以下御列舉ニナッタ條文ニ於テ、各條ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リト書イタノデアッテ、執行命令ハ此ノ各條ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字句ヲ俟ッテ初メテ出スノデハナイ、施行勅令ハ當然施行勅令トシテ出シ得ルノデアリ、又出スノデアアル、斯ウ御説明ニナッテハ如何デスカ、本案決定ノ際意見ヲ立テル參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、ソレガドウシテモ御出來ニナリマセヌカ、尙附加ヘテ申上ゲテ置キマス、若シサウデナイトシマスト、政府ハ御困リニナリハセヌカ、何モカモ勅令ヲ茲ニ出シテ執行命令ニ屬スルモノニシテ勅令ヲ俟タナイデ省令以下デモ出來ルコトヲ態々勅令ヲ何カカンカ黒崎委員カラ御述ニナリマシタヤウニ、誠ニ些々タルコトヲモ尙且勅令ヲ以テシナケレバ此ノ法律ニ適ハヌ、適合シナイト云フヤウナコ

トニナッテ御困リニナリハシナイカ、午前來伺ッテ居リマス云フト、他ノ委員カラ御質問ニナッテ其ノ御質問ニ對シテ御答ニナル時ニハ、執行命令デアルト云ツタ方ガ都合ガ好ササウデアッタ、ケレドモ又一方ノ質問ニ答ヘムトセラレル時ニハ、矢張りサウデモイカス、委任勅令ニモ豫想シ得ルンダ、隨分甚シイ御想像ト思フノデス、何故ナラバ折角昨日祕密會議デ伺ツタヤウニ、立派ナ計畫ガ立ッテ居ル、其ノ計畫ガモウ十分立ッテオイデニナル、サウシテ施行要綱ト云フモノヲ御列記ニナッテ我々ニ示サレテソレ程ニ施行要目ヲ詳細ニ御調ニナッテ御盡シニナッテ居ルトスレバ、其ノ以上ニ委任命令タルコトヲ必要トスル立法事項ガアリ得ルト云フ豫想ハ、餘リニ豫想ガ、マア何ト云ヒマスカ、行キ過ギテ居ルトモ思フノデスガ、併シソレハマア其ノ點ハ今暫ク論ジマセヌガ、矢張り原案ノ御説明ト致シマシテハ、執行命令ハ執行命令デ當然憲法ノ九條ニ依ッテナサレルガ、立法事項トシテ委任命令ニ書カナケレバナラナイモノガ、政府ノ御列舉ニナリマシタ各條ニ互ッデアリ得ル、故ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」、斯ウ書イタノデアアル、而シテソレハ盡ク委任命令デアアル、斯ウ云フ風ニ御説明ニナッタ方ガ

宜シクハアリマセヌカ

○國務大臣(鹽野季彦君) 誠ニ御尤ナ御質

問デゴザイマスガ、甚ダ委任命令ノ主タル内
容デアル立法事項ガ單ニ戰時ノ變化ノアル
狀態ニ生ズルカラ、現在ニ於テ之ヲ確定シ
得ナイト云フ點ニ甚ダ遺憾ナ點ガゴザイマ
スケレドモ、斯様ナ大キナ法律ヲ運用實施
致シマス上ニ於テハ十分ニ法ノ運用ヲ全カ
ラシメル上カラ之ヲ委任命令トシテ置ク必
要ガアリ、又只今豫定シ得ル執行ノ方法ニ
付キマシテモ、場合ニ依リマス、他ノ法
律ニ牴觸ヲ致ス場合モ生ズルカト考ヘル爲
ニ委任立法ニ致シテ、置キマス、本法ノ内
容ト致シマシテ、他ノ法律ノ規定ニ先シテ
適用ガ出來ルト云フコトガゴザイマス爲
ニ、委任立法トシテ手續法ヲモ規定致シタ
イト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) 外ニ御質問ア
リマセヌカ……若シ御アリニナルナラバ此
ノ際御願ヲ致シマスガ、若シ外ノ大臣ナラ
バ御質問ヲシテ見タイト云フ御考ガアリマ
スナラバ、出席ヲ要求シテ見テモ宜シウゴ
ザイマス、併シ司法大臣ニ御質問ガアリマ
スナラバ、此ノ際願ツタ方ガ便宜カト存ジ
マス

○山岡萬之助君 委任命令ノコトニ關シマ

シテ段々審議ガ進メラレテ參リマシタノデ

アリマス、結局本案ノ衆議院以來ノ問題
ハ其處ノ點ニアリマス、主タル點ガ其處ニ
アリマスコトハ私モ申述ベタ所デアリマシ
テ、其處ノ點ノ御説明ヲハッキリシテ、サウ
シテソレヲ此ノ議事ノ上ニ示シテ置キマセ
ヌト云フト、色々ナ點ニ差響キガ起ッテ參
リマスカラ、私モ色々伺ッタノデアリマス、
結局此ノ問題ハ委任命令ト執行命令ノ關係
デアリマシテ、執行命令ニ關スルモノモ尙
法律ニ於テ書ク場合モアリ得ル、書イタ時
ニハ是ハドウシテモ制限スルト云フコトニ
ナッテ來マスノデ、本日黑崎委員ハサウ云フ
場合ハ閣令ト省令トヲ制限スルコトニナル
ト云フ御話デアリマシタ、私ハサウ承リマ
シタ、併シ其ノ點デアリマスルガ、憲法第
九條ニ從ヒマスレバ、命令ヲ發シ、又ハ發
セシムルト云フコトニナッテ居リマスガ、其
ノ發セシムルト云フ方デ、各省ハ行政命令
ガ出セル譯デアリマス、發シト云フノハ直
接ナ執行命令ニナル、第九條ニ於テハ大權
作用トシテドチラデモ此ニツノ途ニ據リ得
ルト云フ次第デアリマス、ソコデ法律ニ於
テ是ハ勅令デナケレバナナイト云フコト
ヲ書クト、憲法九條ハ制限ヲ加ヘルコトニ
明カニナルノデアリマス、ソコデソコニハ

色々議論ガ、是ハ法律論トシテ出テ來ルノ

デアリマス、併シ之ヲ高イ所カラ見マスト
云フト、左様ナ立法ヲ議會ガ協賛シ、政府
ガ御裁可ヲ願ッテモ、陛下之ヲ御裁可ニナリ
マスレバ、其ノ九條ノ發セシムルト云フ風
ナ働キノ所ノ意味ガ制限サレテ來ルコトニ
ナリマス、是ハサウ云フ解釋ガ出來ルトハ
思ヒマスガ、併シソコラ邊ハ私ハ此處デ議
論ヲショウトハ思ヒマセヌガ、立法シマス
時ニ執行命令デ出來ルコトヲ特ニ委任命令
トスルト、先刻黑崎委員カラ申サレタヤウ
ニ、臨時資金調整法第十六條ノ規定ニ依ル
執行命令ニハ殆ド書クコトガナイ爲、官吏
ガ身分ヲ示ス證票携帯ヲ規定シタヤウナコ
トニナリ、此ノ法律ノ運用ニ當ニ不便ヲ來
タシテ行クダケノ話デアリマス、憲法ノ規
定ニモ牴觸シテ行ク嫌ヒガアル、サウ云フ
場合ハ立法トシテハ寧ロ憲法自體カラ直チ
ニ發動スルコトガ、適當デナケレバナラナ
イ、左様ナ次第デアリマスルカラ本案實施
規定ノ中ヲ見マシテ、施行規定デ十分ニ間
ニ合フト云フ所ヲ委任命令ニセナイコト
ガ宜カラウト云フ風ニ私モ考ヘル一人デア
リマス、ソコデ段々御説ガアリマシテ、此
ノ擧ゲラレタ十箇條、ソレハ執行命令デ宜
シイト云フ御話デアリマシタガ、私ハ實ハ

其ノ際ニ感じマシタコトハ十箇條ノ全部ハ

執行命令デハ出來ナイト思ヒマス、本當ニ
精密ニ審査スレバ、執行命令デ間ニ合フモ
ノハ二三箇條デアラウ、此ノ十五條ノ如キ
ハ是ハドウ見タ所デ執行命令デ十分デアリ
マス、ドコニモ人ノ權利ヲ障害スルコトハ
ナイ、法相ノ御答ニナッタノハ、之ヲ執行
命令デ行クト第三者ノ權利ニ差シ響キガア
ルコトガアラウ、今一ツ他ノ法律ニ關係ガ
アルト困ルカラト云フコトデ、其ノ執行命
令ニ止マラザル場合ニアリテハ委任命令
ニナラナケレバナラヌト云フコトヲ説明
セラレマシタガ、併シナガラ此ノ法律自體
ニ於テ、他ノ權利ヲ制限シ、他ノ法律ヲ制
限シテト云フ場合ニ於テドウ云フ作用ヲ
スルカト申シマスレバ、論ズル迄モナク、
後法ハ前法ヲ排スルノデアリマス、此ノ法
律ガ後デ出來レバ他ノ法律ハソレダケ制限
サレテ行ク、大體ノ解釋ハサウナッテ來ル
ノデアリマス、第三者ノ權利ト云フノデア
リマスガ、例ヘバ此ノ協力問題、第五條
ノ協力ニ致シマシテモ、是ハ國民ノ全體ニ
對シテ命令シテアル、第三者ニ少シモ關係
ハナイ、又十五條ニ關係ノナイ第三者ガ此
ノ上ニ何カ權利ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ
コトハ、ドウモチヨット想像ノ付キマセヌ

コトデ、政府ノ所有物デソレヲ拂下ゲルノ
デアリマス、ソレニ第三者ノ權利ガアルト
云フコトハ別問題デアリマス、何モ此ノ法
律ガ豫想スル必要ハナイ、他ノ權利關係ニ
於テ考ヘレバ宜イコトデアリマス、サウ云
フ次第デアリマスカラ、十五條ノ如キハド
ウ見マシタ所デ、サウ云フ關係ニハ實ハナ
ラナイノデアリマスカ、又四條、五條ノ如
キモ法律ガ既ニ全國民ニ對シマシテ徵用ノ
義務、國家ノ仕事ニ御奉公ヲセヨト、斯ウ
云フ義務ガ課セラレテ居リマスカラ、ソコ
迄ハ總テ行クノデアリマス、政府御提案ノ
要綱デハ狹マツテ居リマスカ、ソレ以上執行
命令デ日本國民全部ヲ徵用スベキモノト書
イテチットモ差支ヘナイ、執行命令デ書イテ
宜イ、法律ニ義務付ケラレテ居リマスカラ、
別ニ立法事項ヲ新ラタニ作ル必要ハアリマ
セヌ、尙更五條トナリマスカレバ、一層サウ
デアリマス、サウ云フ意味ニ於テ此ノ中ニ含
マレテ居ル總テガ盡セルノデアリマシテ、
此ノ四條、五條ヲ運用スルニ當ツテ、是以
上義務ヲ要求スベキ何物モ私ハナイと思フ、
若シソコニ何物カ是以上ニアリマスカラナ
ラバ御指示ヲ願ヒタイと思フ、即チ全國民
ガ徵用サレテ業務ニ服ス義務ガアル、ソレ
以上ニ何カソコニ義務付ケル必要ガアリマ

スカ、ナイトスレバ執行命令デ十分デアル、
第五條モサウデアリマス、全國民ガ協力ス
ル、義務ヲ強調スレバ、相當ニ今度四條ノ
如キハサウデアリマス、左様ナ次第デアリ
マスカラ、既ニ全體ガ義務付ケラレテ居リ
マスカラ、之ヲ運用スルニハ立法事項ナシ
ニ、執行命令ダケニ止マツテ、其ノ以外ニハ
想像ダモ付カヌノデアリマス、何カ想像ス
ベキ事柄ガアリマシタラ御指示ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマス、ソレカラ更ニ申述ベ
テ置キタイコトハ、段々御話ノアル勅令ヲ
出サナケレバ是ガ勅令ナイト云フコトハ更
ニ不便ナモノデアアルト云フコトハ、他ノ委
員カラ御述ニナリマシタ、義務ヲ全部付ケ
テ居ル、即チ立法事項ガ是以上ナイト云フ
時ニハ、直チニ此ノ法律ガ勅令ヲ出サヌデ
效力ヲ生ゼシムルト云フコトガ最モソレガ
利巧デハナイカ、斯ウ考ヘル、私ハ國家ノ
此ノ非常時ノ立法デアアルシ、國家ノ重大時
局ニハハ動ク法律デアリマスカラ、ソコデ
立法事項ヲ制限シテ置イテ他日困ルコトガ
アツテ、ソレデモ唯憲法サヘ守レバ宜イト云
フ詰ラヌコトハ申上ゲヌノデアリマス、何
處迄モ非常時局ニ於テ總テヲ盡シテ、而シ
テ此ノ法律ガ直チニ效力ヲ生ジテ、國家ノ
重要ナル場面ニ働キヤウニシテ置ク方ガ宜

イト思フ、而シテ政府ノ段々説明スル勅令
デ書ク、サウスレバ是ハ勅令デ書カナケレ
バ勅令ナイ法律デアリマス、ドウシテモ勅
令デ書カナケレバナラス、而シテ勅令ニ讓
タノハ、祕密ニシナケレバナラナイコトガ
アツテ、想像ガ付カナイ、斯ウ云フ御説明デ
アリマスカ、想像ガ出來ナイナラバ此ノ法
律ハ勅令カヌ、勅令ニ書カナケレバ勅令カヌ、
ソコデ唯僅カニ或勅令デ書イテ置ク、サウ
シテ動クヤウニスル、後ノコトハ段々書イテ
置クト云フ考方ラスレバ、ソレハ一ツデア
リマスカ、次第ニ書イテ行クト云フ行キ
方ニ於キマシテモ、ドウシテモ勅令ニ前カ
ラ書イテ行カナケレバナラヌヤウナコトニ
委任立法デアアルカラナツテ來ル、執行命令デ
アルト云フト其ノ時々ニヤツテ行ケバ宜イ
ノデスカラ、此ノ方ガ寧ろ本文ニ於テ義務
ガ充實サレテ居ルノナラバ、其ノ場合々々
デ執行シテ行ツタ方ガ敏活ニ行クンデハナ
イカ、斯ウ云フコトモソコニ考ヘラレマス、
今一ツハ御議論ノ中ニアリマシタ罰則ノ關係
デアリマスカ、是ハ立法事項、此ノ法ヲ
施行スルニ當リマシテハ、委任立法デアアル
ト云フ形ニナレバ、ドウシテモ總テノ關係
ニ於テ罰則ガ其處ダケ働イテ居リマスカ
ラ委任立法ノ小サイモノ迄委任ト云フ形ヲ

採リマスト大キイ罰ヲ食フヤウニナリマス、
其處ハ先刻塚本委員ヨリ御話モアリマシタ
ヤウニ、第何條ニ依ツテ委任立法スルト云フ
コトハハッキリト執行勅令ニ之ヲ書イテ其
處ニ關係ノナイモノデアアルナラバ、第何條
ト云フコトナシニシテ置ク必要ハ是非共ア
ルトと思フ、サウ云フ考方ヲシテ行キマスト
此ノ中ノ二三條程度ノモノハ、確ニ委任立
法程度ノモノハドウ求メテモナイコトニナ
ル、ソコデサウ考ヘマスカ、其ノ二三條
ニ於ケル所ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云
フ解釋ハ、若シ其ノ儘デ置クト云フトドウ
考ヘテモ全く注意規定デアアル、執行命令ハ
憲法デ出來ルケレドモ、其處ハ注意シタノ
デアアルト云フ解釋スル外ハナイ、私ハ
ソレデアリマスカラ原案ヲ支持スル立場ニ
立ツテ行ケバ、サウ云フ考方ヲシテ此ノ運用
ニ支障ノナイコトヲ考ヘナケレバナラヌト
思ヒマスガ、兎ニ角立法技術ノ上カラ考ヘ
マスカレバ甚シク解釋ノ困難ヲ來シテ居ルヤ
ウニ見ラレル所ガ其處ニアルノデアリマス、
左様ナ次第デ兎モ角モ此ノ點ニ關シマスル
コトニ付キマシテハ、本案ト致シマシテハ
誠ニ重大ナ事柄ト私ハ思ヒマスノデ、ソレ
デ只今此ノコトヲ申上ゲテ何カソレニ關
シテ御所見ガアリマシタラ伺ツテ置キタイ

ト思ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 法律ヲ執行致シ

マスニ付テ、執行命令ヲ以テヤルト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、憲法第十條ノ但書ニ依リマシテ執行命令又ハ獨立命令ハ法律ニ牴觸スルコトヲ許サズト云フコトニナツテ居リマス、本法ニ於キマスル勅令、是ハ所謂委任立法デアリマシテ、此ノ本法ノ内容トナルモノデアリマスルカラ、立法事項其ノ他ヲ規定致シテアル其ノ規定ガ法律ト同ジ效力ヲ持チ、從ツテ既ニ存スル他ノ法律ヲ變更スルト申シマスルカ、其ノ既存ノ法律ヨリモ優先シテ働クト云フ點ニ大變ナ違ヒガアルノデアリマス、執行命令デヤツテ置キマスレバ執行ハ出來ルト申シマスガ、其ノ執行命令ノ中ニ若シモ他ノ法律ニ牴觸スルト云フヤウナコトヲ書カウト思ツテモソレハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ矢張り委任立法ノ形ヲ持チマスルコトガ宜シイト考ヘテ居リマス、デ、唯本法ガ實際活動スルニハ、其ノ勅令ガ出ナケレバ何ニモナラヌデハナイカ、現ニ其ノ内容ガ分ラヌト云フノデハ本法ノ發動ガ出來ナイデハナイカ、斯ウ云フ疑問ハ至極御尤デアリマスガ、是ハ只今ニ於テハ分ラヌト申上ゲルノデアリマシテ、

戰爭ノ相手ノ國ガ定ツテ、北デアルトカ東デアルトカ南デアルトカ、何レカニ確定、確定ト申シマスルカ殆ド定ツタト云フ際ニ於キマシテハ、之ニ對スル動員ノ計畫ガ出來マス、ソコデ戰爭ノ規模モ凡ソ大ナリ小ナリ豫想ガ付イテ、從ツテ此ノ本法ヲ實施シ運用シテ行クト云フニ付テハ、其ノ勅令ノ内容ハ此ノ程度デ宜シイ、斯様ナ意味合ニ於キマシテ、之ヲ運用スル前ニ於キマシテハ内容モ確定致シマシテ、之ヲ漸次時機ヲ見テ公布致シテ行クト云フコトニナリマス、只今ニ於キマシテ戰爭ノ相手國ト云フモノヲ、如何ニ想定スルカト云フコトハ困難デゴザイマスガ、併シナガラ目下ノ國際情勢ニ於キマシテハ、如何ナル時局ヲ招來スルヤモ測ラレザル狀況デアリマシテ、豫メ其ノ準備計畫ヲ致シテ置クコトガ善ノ善ナルモノト考ヘル次第デアリマス、ソコデ此ノ立法ガ必要ヲ感じテ居ル譯デアリマス、斯様ナ譯合ヒデアリマシテ、只今内容ヲ具體的ニ御示ガ出來ナイト云フ點ハ極メテ遺憾デアリマスルガ、又其ノ事情ヲ十分ニ御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス、又本法ハ其ノ勅令ニ依ツテ罰セラレルト云フヤウナ點ニ付テ

本法ニ規定致シテアリマシテ、少シモ紛ラヒハナイノデアリマス、命令自體ニ依ツテ罰セラレルト云フ場合ハナイノデアリマス、尤モ命令デアリマスカラ命令ニ對スル相當ノ罰則ハ他ノ法ノ根據カラ然ルベク定メラ

十五條ニ關スルモノハ恐クハ委任命令ト云フモノハ要ラナイデ全部執行命令デヤレルノデハナイカ、成ル程御説ノ通りダトハ思フノデアリマスガ、十五條ノ規定ニ依リマシテ執行命令ヲ作ル際、或ハ斯ウ云フコトモ書ク必要ガアルノデヤナイカト云フコトモ考ヘラレテ居ルノデアリマス、ソレハ優先受ノ權利ヲ舊所有者又ハ舊權利者、又ハ一般承繼人ニ與ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付テハ手續トシテ拂下ラスルト云フコトヲ明瞭ニ書クノデアリマス、而シテ其ノ權利ヲ有スルト認メルモノハ一定ノ期間内ニ申出ヨト云フコトヲ或ハ分ツテ居レバ通知致シマスシ、分ラナケレバ報告スル、若シ其ノ通知又ハ報告シタル後ニ何等權利ノ申出ガナイノダト云フ場合ニハ、モウ此ノ買受ノ權利ハナクナルノダト云フヤウナコトモ規定シタイト云フヤウナ心持ガアルノデアリマス、サウ云フコトヲ一體書クノハ、是ハモウ法律ニ書ク事項デヤナイカ、コンナコトヲ命令ニ書イチャイカスデヤナイカト云フ風ナ議論ガ起リハシナイカト云フノデ、斯ウ云フ場合ニ際會シマス、常ニ立法スル爲ニ非常ニ卑怯ニナリマシテ、ソレデハ矢張り是ハ委任命令ノ形ヲ執ツテ置キ、勅令ノ定ムル所ニ依リトカ、命令ノ

戰争ノ相手ノ國ガ定ツテ、北デアルトカ東デアルトカ南デアルトカ、何レカニ確定、確定ト申シマスルカ殆ド定ツタト云フ際ニ於キマシテハ、之ニ對スル動員ノ計畫ガ出來マス、ソコデ戰爭ノ規模モ凡ソ大ナリ小ナリ豫想ガ付イテ、從ツテ此ノ本法ヲ實施シ運用シテ行クト云フニ付テハ、其ノ勅令ノ内容ハ此ノ程度デ宜シイ、斯様ナ意味合ニ於キマシテ、之ヲ運用スル前ニ於キマシテハ内容モ確定致シマシテ、之ヲ漸次時機ヲ見テ公布致シテ行クト云フコトニナリマス、只今ニ於キマシテ戰爭ノ相手國ト云フモノヲ、如何ニ想定スルカト云フコトハ困難デゴザイマスガ、併シナガラ目下ノ國際情勢ニ於キマシテハ、如何ナル時局ヲ招來スルヤモ測ラレザル狀況デアリマシテ、豫メ其ノ準備計畫ヲ致シテ置クコトガ善ノ善ナルモノト考ヘル次第デアリマス、ソコデ此ノ立法ガ必要ヲ感じテ居ル譯デアリマス、斯様ナ譯合ヒデアリマシテ、只今内容ヲ具體的ニ御示ガ出來ナイト云フ點ハ極メテ遺憾デアリマスルガ、又其ノ事情ヲ十分ニ御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス、又本法ハ其ノ勅令ニ依ツテ罰セラレルト云フヤウナ點ニ付テ

本法ニ規定致シテアリマシテ、少シモ紛ラヒハナイノデアリマス、命令自體ニ依ツテ罰セラレルト云フ場合ハナイノデアリマス、尤モ命令デアリマスカラ命令ニ對スル相當ノ罰則ハ他ノ法ノ根據カラ然ルベク定メラ

十五條ニ關スルモノハ恐クハ委任命令ト云フモノハ要ラナイデ全部執行命令デヤレルノデハナイカ、成ル程御説ノ通りダトハ思フノデアリマスガ、十五條ノ規定ニ依リマシテ執行命令ヲ作ル際、或ハ斯ウ云フコトモ書ク必要ガアルノデヤナイカト云フコトモ考ヘラレテ居ルノデアリマス、ソレハ優先受ノ權利ヲ舊所有者又ハ舊權利者、又ハ一般承繼人ニ與ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付テハ手續トシテ拂下ラスルト云フコトヲ明瞭ニ書クノデアリマス、而シテ其ノ權利ヲ有スルト認メルモノハ一定ノ期間内ニ申出ヨト云フコトヲ或ハ分ツテ居レバ通知致シマスシ、分ラナケレバ報告スル、若シ其ノ通知又ハ報告シタル後ニ何等權利ノ申出ガナイノダト云フ場合ニハ、モウ此ノ買受ノ權利ハナクナルノダト云フヤウナコトモ規定シタイト云フヤウナ心持ガアルノデアリマス、サウ云フコトヲ一體書クノハ、是ハモウ法律ニ書ク事項デヤナイカ、コンナコトヲ命令ニ書イチャイカスデヤナイカト云フ風ナ議論ガ起リハシナイカト云フノデ、斯ウ云フ場合ニ際會シマス、常ニ立法スル爲ニ非常ニ卑怯ニナリマシテ、ソレデハ矢張り是ハ委任命令ノ形ヲ執ツテ置キ、勅令ノ定ムル所ニ依リトカ、命令ノ

○政府委員(森山銳一君) 只今ノ山岡委員

ノ御質疑ニ對シテ幾ラカ御參考ニナルカト思ヒマスノデ一言申上ゲテ見タイト思ヒマス、色々ナ法律ヲ作りマス際ニ非常ニ精シク規定ヲスルモノモアリマスシ、極メテ簡單ニ規定ヲスルモノモアルノデ、サウ云フ際ニ其ノ法律ガ御裁可ニナツテ制定サレ、バ執行命令ヲ作ルノデアリマス、執行命令ヲ作ツテ苟クモ法律トシテ成立スレバ其ノ法律ガ動クノデアリマスガ、其ノ際ニ非常ニ簡單ニ法文ヲ書イタ場合ニ果シテ其ノ執行命令トシテ命令ヲ作レバソレデ宜シイノデアルカドウカ、言ヒ換ヘテ見ルト簡單ニ法文ヲ書ク場合ニハ何處迄法文ヲ書ケバ法律トシテ宜イカ、是ハモウ法律ニ書カナクテモ執行命令デ行クノダ、何處ヲ限界トシテ其ノ線ヲ引クカト云フコトニナルト常ニ迷フノデアリマス、第十五條ノ規定ヲ擧ゲテ、

十五條ニ關スルモノハ恐クハ委任命令ト云フモノハ要ラナイデ全部執行命令デヤレルノデハナイカ、成ル程御説ノ通りダトハ思フノデアリマスガ、十五條ノ規定ニ依リマシテ執行命令ヲ作ル際、或ハ斯ウ云フコトモ書ク必要ガアルノデヤナイカト云フコトモ考ヘラレテ居ルノデアリマス、ソレハ優先受ノ權利ヲ舊所有者又ハ舊權利者、又ハ一般承繼人ニ與ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付テハ手續トシテ拂下ラスルト云フコトヲ明瞭ニ書クノデアリマス、而シテ其ノ權利ヲ有スルト認メルモノハ一定ノ期間内ニ申出ヨト云フコトヲ或ハ分ツテ居レバ通知致シマスシ、分ラナケレバ報告スル、若シ其ノ通知又ハ報告シタル後ニ何等權利ノ申出ガナイノダト云フ場合ニハ、モウ此ノ買受ノ權利ハナクナルノダト云フヤウナコトモ規定シタイト云フヤウナ心持ガアルノデアリマス、サウ云フコトヲ一體書クノハ、是ハモウ法律ニ書ク事項デヤナイカ、コンナコトヲ命令ニ書イチャイカスデヤナイカト云フ風ナ議論ガ起リハシナイカト云フノデ、斯ウ云フ場合ニ際會シマス、常ニ立法スル爲ニ非常ニ卑怯ニナリマシテ、ソレデハ矢張り是ハ委任命令ノ形ヲ執ツテ置キ、勅令ノ定ムル所ニ依リトカ、命令ノ

定ムル所ニ依リトカ云フ風ニシタ方ガ宜イ
ヂヤナイカ、サウシナイト、若シサウ云フ
規定ヲ書イタ場合ニ、是ハ命令デ出来ヌコ
トラ書イタノダト云フコトニナルト、トン
ダコトニナルカラト云フヤウナ、非常ニ立
法上マア臆病ト申シマスカ、サウ云フヤウ
ナコトヲ考ヘテ、或ハ執行命令デ宜イノダ
ト思ハレルヤウナコトラ、之ヲ形式的ニハ
委任命令ノ形ヲ執ッテ立法スルト云フ例ガ
相當アルノデアリマス、午前ニ私カラ申上
ゲタ際ニ、色々ナ事情ヲ考慮シテト云フコ
トラ申シマシタノハ、サウ云フコトモ一ツ
含シデ居ルノデアリマスカラ、ドウカ立法
上ノ苦心ト申シマスカ、サウ云フ點ヲ御了
解願ヒタイト思フノデアリマス

○山岡萬之助君 鹽野法相ヨリ御述ニナリ
マシタ點ハ、御尤デアリマス、詰リ此ノ勅
令ノ内容ト云フモノガ如何ナル戰爭ガ起キ
テ來ルカト云フコトヲ今カラ豫想ノ出來ル
筈ハナイノデアリマスカラ、其ノ程度ニ依ッ
テ自然徵用ノ人數モ變リマセウシ、年齡程
度モ變ッテ參リマセウ、デスカラ、サウ云フ風
ニ内容ガ色々動クト云フコトハ、全ク御説
ノ通りデアリマス、デアリマスルカラシテ、
委任命令ニ關スルコトニ付テハ全ク御同感
デアリマス、サウ云フ場合ノ必要ハ確カニ

起キルノデアルト思ヒマス、唯私ガ繰返シ
テ申シテ居リマスルコトハ、結局本文ニ於
テ完全ニ國民ニ義務付ケル、其ノ事柄ヲ動
カスニ付テハ、最早立法事項ハ要ラナイノ
ダト云フ條文ニ付テ、何ヲ苦シンデ勅令ニ
委任サレルト云フコトヲ致スノデアルカ、
ソレハ非常ニ法律ノ效用ト云フモノヲ薄弱
ニスルノミデアアル、即チ國家總動員ノ力ヲ
充實スルコトニ於テハ、何モ此ノ考ト違ッテ
居ラヌ點デアリマスルカラ、其ノ點ハ能ク
御了承願ヒタイ、私ハ唯此ノ法律ノ萬全ヲ
期スルダケノ話デアリマス、執行命令ニシ
タ結果ハ同等ニ歸著スル、否立法ガ直チニ
アル、其ノ法文ガ效力ヲ生ズル法文モアル
ト云フ點ニ於テハ、寧ロ都合ガ宜イ、又執
行命令ガドウ云フ風ニデモ自由ニ出來ルト
云フコトヲ申シテ居ル點デアリマシテ、尙
今政府委員ノ御説明ニサウ云フ風ナ先例モ
ナイコトハナイ譯デアリマス、能ク諒ト致
シマス、今日ハ此ノ程度ニ止メマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 別段御質問ハ
アリマセスカ

○山川端夫君 別ノ問題ニ觸レテ少シ御尋
ネ致シタイト思ヒマスガ、ソレハ第五十條
ノ審議會ニ附スベキ事項ニ關スル點デゴザ
イマス、之ニ重要事項ハ審議會ニ諮問スル

ト云フコトニナッテ居リマスガ、重要事項ト
云フコトニ付テハ、勅令ノ内容ヲ成スモノ、
其ノ他重要ナ事柄ト云フ風ニ御説明ニナッ
タヤウニ記憶致シマス、若シ誤リガアリマ
スレバドウカ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス、
私ノ御尋ネシタイト云フノハ、其ノ重要事項
ト云フ下ニ括弧ガアリマスガ、「軍機ニ關ス
ルモノヲ除ク」ト云フコトデアリマス、軍機
トハドウ云フコトヲ意味スルノカ、先ヅ之
ヲ伺ヒタイ、是ハ軍部ノ御方ニ伺ツタ方ガ
宜イカモ知レマセスガ、併シドナタデモ宜
シウゴザイマスカラ、ドウ云フコトデア
カト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ
「軍機ニ關スルモノヲ除ク」トアリマスカ
ラ、却テ私ニハ非常ニ疑ヲ懷イテ參ッタノデ
アリマス、寧ロ私ハ軍機ニ關スルコトヲ審
議會ニ付議スルカドウカト云フコトハ、政
府當局者ノ注意事項ト云フカ心覺エデ決メ
ラレルコトヂヤナイカ、之ヲ特ニ此處ニ擧
ゲラレルト、色々ナ疑ガ起リハシナイカト
云フ風ニ思フノデアリマス、軍機ト云フ範
圍ノ如何ニモ依リマスケレドモ、軍機ニ關
スルコトト云フトドウ云フコトニナリマスガ、
ソレニ依リマシテハ、或ハ軍機ニ關スルコト
ニ付テ、一般ノ臣民ニ或行爲、不行爲ヲ命ズル
爲ニ特別ナ規定ヲ設ケルト云フコト迄進ミ

マスト、此ノ後ノ取扱ハドウ云フ風ニナル
カ、之ヲドウ云フ風ニシテ臣民ニ知ラセル
カト云フ問題モ起ルヤウニ見受ケマスガ、
ソコデ先ヅ軍機ト云フ解釋及ビ此ノ「軍機ニ
關スルモノヲ除ク」ト云フコトヲ御書キニナ
リマシタ御趣意ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(山脇正隆君) 只今ノ御尋ノ中
デ軍機ノ意味ダケヲ私カラ申上ゲマス、此
處ニ書イテアリマス軍機トハ、軍事上ノ祕
密ノ意味デゴザイマス、例ヘバ兵器ノ製造
能力ノヤウナ祕密ハ固ヨリデゴザイマスガ、
軍隊輸送上ノ船舶管理ノ如キ、用兵作戰ニ關
スル祕密ヲ察知ノ出來ルヤウナ軍政上ノ事
項モ含シデ居ル意味デゴザイマス

○政府委員(青木一男君) 本法第五十條ニ
依リマシテ、此ノ審議會ニ諮問致シマス事
項ハ、本法施行ニ關スル重要事項デアリマ
シテ、其ノ内容ハ大體御尋ノ如ク、本法ニ
基ク勅令ノ内容タルベキ事項、或ハ本法ノ
運用ノ方針ニ關スル重要事項ト云フコトヲ
豫想致シテ居リマス、軍機軍令事項ハ統帥
作用デアリマスカラ、固ヨリ本法ノ範圍外
デアリマス、又勅令ノ内容タルベキ事項ヲ
諮問致ス場合ハ、ソレハ後カラ公布セラル
ベキモノデアリマスカラ、性質上、陸軍省
政府委員ノ述べラレタヤウナ軍事上ノ祕密

ト云フコトハナイト思ヒマスガ、本法施行ノ方針ニ關スルコトニ付キマシテハ、軍事上ノ秘密ニ關係アル部分ガアリ得ルノデアリマシテ、是ハ本法施行ニ關スル重要事項ト云フ言葉ニ該當スルカモ知レナイガ、其ノ場合ガアツテモ、此ノ審議會ニハ諮問シナイト云フコトヲハッキリスル爲ニ規定シタモノデゴザイマス

○山川端夫君 大體ハ答辯ニ依リマシテ了承致シマシタガ、軍機ト云フノハ軍ノ秘密ヲ指スノデアアル、普通ニ言フ軍機、軍令ト云フモノトハ範圍ガ全然違タモノデアアルト云フコトデアリマス、サウシマスト本法施行ニ關スル重要事項ノ中ニ軍ノ秘密ニ觸レルモノガアルカモ知レナイカラ是ハ諮問ヲシナイト云フ斯ウ云フ御趣意ノヤウニ拜承致シマシタ、私ノ實ハ考ヘマシタノハ、此ノコトガアル爲ニ或ハ軍機ニ關スルモノニ付テ、一般ノ臣民ニ對シテ、或諮問スベキ規則ヲ出サレルノハ非常ナ面倒ナコトニナリハセヌカト云フコトヲ心配シテ、實ハ御質問申上ゲタノデアリマス、今ノ御説明デサウ云フコトハナイト云フコトガハッキリ分ルノデアリマス、本法施行ニ關スル重要ナ方針、例ヘバ作戰計畫ト云フヤウナコトニ付テハ、恐ラクハ御諮詢ハナイコトハ是

ハ分ツテ居ル、出師準備ト云フヤウナ計畫ガスツカリ出來上ツテ、其ノ出師準備ノ計畫ヲ、動員計畫ヲドウ云フ風ニ實行サル、カト云フコトニ付テ、初メテ本法ノ管掌スル事柄ニナルト私ハ想定シテ居リマス、サウシマスト、殆ド此ノ審議會ニ御諮詢ニナルコトハ、總テト云フテ宜イカト思ヒマスガ、軍ノ秘密ニ關係シナイコトニナリハシナイカ、或ハ重要事項ト言ヒマシテモ、特ニ軍機ニ關スルモノヲ除クト云フヤウナ斷リ書ヲ御附ケニナラナイデモ、ドウセ政府當局ノ御諮詢ニナルコトハ是ハ除イテ來ルノデアアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ文句ハナクテ宜イノヂヤナイカ、或ハ却テ問題ヲ起スノヂヤナイカト云フヤウニ感じタノデ御質問ヲ致シタ次第デアリマス、是非トモ斯ウ云フコトガ必要デアリマスカドウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 先程モ申述ベマシタ如ク、本法運用上ノ方針ニ付テ軍ノ秘密ニ觸レル事項ガアリ得ルノデアリマスガ、ソレガ重要ナ、此ノ場合ハ一應第五十條ニ在ル本法施行上重要ナル事項ト云フコトニ該當致シマスノデ、ソコニ疑義ガ生ジテ、政府ガ諮問シナイノハ不都合デアアル、施行違反デアルト云フ疑義ガ起ツテハナリマセ

スノデ、ハッキリ入レタノデアリマス

○山隈康君 二十八條及二十九條ノ規定ニ對シテ御尋ネシタイト思ヒマス、此ノ使用收益其ノ他諸般ノ財産ニ對スル制限ニ關シマシテ、補償委員會ノ決議ヲ經テ補償サル、此ノ場合ハ委員會ノ決議ニ對シテ不服ヲ

申述ベルコトガ出來ナイ、規定ノヤウニ存ズルノデアリマス、徵發令ノ如キ極メテ單純ナ場合ハ別問題ト致シマシテ此ノ二十八條ニ引用シテアリマスル二十二條、二十三條、二十五條、之ハ頗ル重要ナル財産私權ニ關スル制限デアリマス、此ノ際斯様ナ私權ニ對シテ國家ガ軍事上必要ナル場合ニ、制限ヲ致シマスル際ハ十分ノ補償ヲ爲スト云フコトガ當然ノ筋合デハナイカト思フノデアリマス、彼ノ土地收用法ノ規定ノ如ク、其ノ決定ニ對シテ不服ガアレバ裁判所ニ對シテ救済ヲ求ムルコトガ出來ル、完全ナル補償ヲ得ル、此ノ國家總動員ノ場合ハ、國民全體ガ總動員スベキモノデアリマスカラ、國民ノ全體カラ納メタル租税ニ依ッテ、是等ノ處分ヲ受ケタル者ニ遺憾ノナキ補償ヲスルト云フコトガ、當然ノ筋合デハナイカト思フノデアリマス、之ヲ單ニ補償委員會ノ決定ダケデ、其ノ決定ニ異議ヲ申述ベテ、更ニ公正ナル裁判所ノ判斷ニ依ツテ

完全ナル救済ヲ求メ得ナイト云フコトニ御決メニナリマシタノハ、何カ特殊ノ事由デモアルノデアリマスカ、一般ノ土地收用法トハ稍、補償ガ薄イヤウデアリマス、ソレヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(青木一男君) 御説ノ如ク補償ニ關スル價格ノ……補償ノ金額ノ決定等ハ、「總動員補償委員會ノ議ヲ經テ政府之ヲ定ム」ト規定シテアリマスノデ、委員會ノ決議、或ハ政府ノ決定ニ對シテ不服ノアル場合ニ於テモ、通常裁判所ニ出訴スル途ハ開イテアリマセヌ、之ハ軍需工業動員法ノ例モ斯様ニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ理由ハ土地收用法等ノ場合ハ之ハ平時ノア、云フ制度デアリマシテ、又其ノ法規ノ規定ニ依ツテ土地ヲ收用シ得ルモノモ、國家以外ノ一般ノ人ガアリ得ルノデアリマシテ、本法ハ戰時ノ際國家ガ其ノ總動員上ノ必要ニ基イテ國民カラ物資ヲ收用シ、或ハ工場ヲ管理使用スルトカ、サウ云フヤウナ場合デアリマシテ、場合ニ依リマシテハ非常ナ澤山ノ「ケース」ガ押シテ來ルコトヲ豫想シナケレバナリマセヌ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、速カニ其ノ權利關係ヲ確定致シタイ、又國民ト國家トノ間ニ、サウ云フ場合ニ金額ノ多少等ニ付キマシテ、頻々タル訴訟ノ

途ヲ開クト云フコトハ諸種ノ點カラ見テ好マシクナイ、斯ウ云フ趣旨ヲ以テ此ノ訴訟ノ途ヲ認メナカッタノデアリマスガ、併シ國民ノ權利ヲ十分ニ尊重シナクテハナラナイト云フ御趣旨ハ御説ノ通りデアリマシテ、其ノ總動員補償委員會ニ於テハ、十分此ノ趣旨ヲ以テ權利者ノ權利保護ニ遺憾ナキコトヲ期シタイ、之ハ總動員補償委員會ノ構成、或ハ運用ニ付テ十分其ノ趣旨ヲ採入レテヤッテ行キタイト云フ考デアリマス

○山隈康君 只今ノ御説明デ一應了承致シマシタ、次ニ私ハ審議會ノコトニ付テ御尋シテ見タイ、此ノ法案立案ノ際ニハ、審議會ト云フモノノ設置ハ御考ニナッテ居ナカッタヤウニ拜承シテ居ッタデアリマス、段々ト斯ウ本法ガ委任事項ガ非常ニ多ク、國民ガ不安ノ念ガアル、斯ウ云フコトカラ致シマシテ審議會ヲ設クルニ至ッタ模様ニ拜聴ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯國民ノ非常ニ此ノ案ニ對シテ關心ヲ持ッテ居リマスルノヲ率直ニ申述ベマスレバ、日本ノ國民ハ忠誠報國ノ念ニハ非常ニ厚イモノデアリマス、一度出征ヲ致シマスレバ忠勇無比ノ軍人トナリ、又ソレガ郷里ニ歸リマスレバ全ク賞讃ニ値スル銃後ノ國民トナル、斯ウ云フ際ニ於キマシテ、法律ノ力ニ依ッテ忠勇ヲ強制……

是ハ甚ダ言葉ニ語弊ガアリマスルケレドモ、サウ云フ傾向ノアルト云フコトヲ懸念ヲスル人モアルヤウデアリマス、併シ非常事變ニ際シマシテ、單ナル國民ノ愛國心ノミニ依存スル譯ニ行カヌ、ソレト法制ノ力ト相抱キ合ヒマシテ、非常時局ニ對應スルト云フコトハ是ハ無論言フ俟タナイコトガラウト思フノデアリマス、唯此ノ審議會ヲ決議機關トセズシテ、諮問機關トセラレマシタル理由ヲ御尋申シタイト存ズルノデアリマス、此ノ國民ノ總テノ意見ト政府トノ間ニ融和致シマシテ、非常時局ニ善處致シマスルニハ、出來ルダケ國民ノ總意ガ法制ノ上ニ現レルト云フコトガ必要ダト思フノデアリマス、衆議院等ニ於キマシテモ屢々常置委員ヲ設置シタイト云フ希望モアル、是ハマア憲法上ニ色々ノ問題ガアリマスルガ、ソレ等ノ意思カラ考ヘマシテモ、政府ノ御説明ニ依リマスルト、此ノ委員ハ貴衆兩院ヲ以テ多數トスル、此ノ貴衆兩院ヲ以テ多數トスル審議會ニ於テノ決議ニ依ッテ、立法事項、即チ委任事項ヲ決定ヲサレルト云フコトニナリマスレバ、全ク此ノ審議會ヲ通ジテ國民ノ總意ガ法律ノ上ニ現レルコトニ相成リマス、法律ノ力ニ依ッテ國民ノ忠誠ヲ強要スルデナク、國民モ此ノ機關ヲ通ジテ政府ト

共ニ抱キ合ッテ行クト云フコトガ甚ダ宜イコトデハナイカト思フ、現ニ單純ナ財産ノ處分使用ニ關スルコトニ對シマシテモ、委員會ノ決議ヲ經テ補償額ヲ決定スルト云フ程、國民ノ權利ニ對スル尊重ガアルノデアリマス、此ノ國民總動員ノ全體ヲ見マスルト、物心兩様ニ相當國民ニ對シマスル強制ト申シマスカ、協力ヲ求メテアル、此ノ法律ノ施行ニ對シマシテ單ナル諮問機關デア、從來ノ諮問機關ハ私ノ知レル限りニ於キマシテハ諮問機關ノ組織自體カラ致シマシテモ、亦其ノ委員自體カラ致シマシテモ、全ク政府ノ御用機關ノヤウナモノデアッテ、其ノ諮問機關ガ眞ニ國民ノ意志ヲ其ノ機關ニ依ッテ政府ニ通ズルト云フ實際ノ働キヲ爲シタ諮問機關ハ、餘程少クハナイカト思フノデアリマス、是ハ決議機關トセズ、諮問機關トスベキ何カ特殊ノ理由ガオアリナルノデアリマセウカ、非常時局ノ際ニ於テ決議ヲ要スルガ如キコトハ、迅速ニ處置ヲ運ブ上ニ於テ差支アルト云フノデアリマセウカ、或ハ既ニ勅令委任事項トシテ決定シタ以上ハ、法規ノ性質上決議機關ト云フコトハ差支アルト云フノデアリマセウカ、又ハ其ノ他特殊ノ理由ガ存在スルノデアリマセウカ

○國務大臣(鹽野季彦君) 審議會ヲ諮問機關ニ致シマシタ理由ハ、多クノ場合ニ於キマシテ具體的ノ案件ヲ決定スル、金額ヲ決メルトカ云フヤウナ場合ニハ決議機關ニ致シテ居リマス、ソレカラ抽象的ニ此ノ事項ヲ決メルト云フヤウナ場合ハ諮問機關ニスルノガ普通デゴザイマス、例ヘバ臨時資金調整法ニ依リマシテモ、許可認可ノ處分ヲスルト云フヤウナ時ニハ、臨時資金審査委員會ノ決議ヲ經テヤルヤウニナッテ居ル、又資金使用ノ調査ニ關シ、重要ナル事項ヲ調査スルト云フヤウナ場合ニハ、資金調整委員會ト云フ一ツノ諮問機關ガ出來テ居ル、抽象的ノ基本ヲ決メル場合ニハ諮問機關ト云フノガ普通ノ解釋デゴザイマス、ノミナラズ本法ノ運用ハ政府ガ全責任ヲ帶ビテ致スノデアリマシテ、審議會ヲ決議機關ト致シマシテ、政府ノ責任ヲ轉嫁スル結果トナリマシテモ如何カト考ヘラレルノデアリマス、固ヨリ戰時ノヤウナ急場ノ際デアリマスカラ、尙更決議ヲ取ルト云フヨリモ諮問デ早ク片付ケルト云フコトモ實際上アルカモ知レマセスガ、マア法制上ノ理論ト致シマシテハ前ニ述ベマシタヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山隈康君 政府ノ全責任ニ屬スルコトヲ

以テ審議會ニ責任ヲ轉嫁スル嫌ヒガアルト云フ御説明ノヤウニ拜承致シテ居ルノデアリマス、此ノ案ノ骨子ハ即チ立法事項ニ屬シテ居ルノデアリマス、立法事項ニ屬シテ事柄ヲ其ノ立法ニ關係ノアル貴衆兩院ヲ主トシテ組織セラレル審議會ガ其ノ決議ヲ經テ責任ヲ負フト云フコトハ是ハ當然ナ筋合デハナイカト思フノデアリマス、唯審議會等ニ責任ヲ負ハセルト云フコトハ甚ダ困ルト云フ理由ニ依ッテ決議機關トシナカッタト云フコトガチヨット分リ難ネマスガ、マア是以上ハ意見ニナリマスカラ答辯ハ求メナイデモ宜シウゴザイマス、尙委員長ニ御願ヒシタイト思ヒマスノハ、私内務大臣ノ御出席ヲ得マシテ少シク御尋ラシタイト存ジマスガ、本日ハ此ノ程度デ御止メヲ願ヒマシテ、明後日質問ヲ御繼續願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 承知致シマシタ、本日ハ此ノ程度デ散會ヲ致シタイト思ヒマス、明後日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後三時三十二分散會
出席者左ノ如シ

委員長 子爵渡邊 千冬君
副委員長 男爵大井 成元君

委員

公爵島津 忠承君	侯爵四條 隆愛君	侯爵井上 三郎君	伯爵二荒 芳徳君	子爵青木 信光君	子爵會我 祐邦君	子爵岡部 長景君	大島 健一君	水野鍊太郎君	男爵紀 俊秀君	伊澤多喜男君	塚本 清治君	山川 端夫君	白根 竹介君	男爵渡邊 汀君	黑崎 定三君	男爵伊江 朝助君	竹越與三郎君	山岡萬之助君	松村 義一君	金杉英五郎君	山隈 康君
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	----------	--------	--------	--------	--------	-------

國務大臣

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

政府委員

司法大臣 鹽野 季彥君	陸軍大臣 杉山 元君	法制局參事官 森山 銳一君	企畫院總裁 瀧 正雄君	企畫院次長 青木 一男君	企畫院部長 植村甲午郎君	同 橫山 勇君	企畫院書記官 內田源兵衛君	外務參與官 春名 成章君	外務省調查部長 米澤 菊二君	內務參與官 木村 正義君	內務省警保局長 富田 健治君	陸軍參與官 比佐 昌平君	陸軍中將 山脇 正隆君	海軍參與官 岸田 正記君	海軍主計大佐 山本丑之助君	司法省刑事局長 松阪 廣政君	司法省行刑局長 瀧川 秀雄君	司法省調查部長 井上 登君	文部政務次官 內ヶ崎作三郎君	文部參與官 池崎 忠孝君	文部省實業學務局長 小笠原豐光君	文部省圖書局長 石井 忠純君	文部省宗教局長 松尾 長造君	教學局部長 阿原 謙藏君
-------------	------------	---------------	-------------	--------------	--------------	---------	---------------	--------------	----------------	--------------	----------------	--------------	-------------	--------------	---------------	----------------	----------------	---------------	----------------	--------------	------------------	----------------	----------------	--------------

商工省鑛山局長 小金 義照君	鐵道參與官 金井 正夫君	拓務參與官 伊禮 肇君	厚生政務次官 工藤 鐵男君	厚生省勞働局長 成田 一郎君
----------------	--------------	-------------	---------------	----------------

昭和十三年三月二十二日印刷

昭和十三年三月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局